








保全業務特記仕様書

業 務 名

奈良先端大 警備業務

奈良先端科学技術大学院大学 管理部施設課				
施設課長	課長補佐	係長	専門職員	担当者
				  

特 記 仕 様 書

1. 業務名 奈良先端大警備業務

2. 業務場所 ・ 生駒市高山町8916- 5 奈良先端科学技術大学院大学 構内
・ 生駒市高山町8916-14 奈良先端科学技術大学院大学 (学生宿舍6棟～8棟) 構内
・ 生駒市高山町8916-19 奈良先端科学技術大学院大学 (事務局別館) 構内

3. 業務期間 令和 8 年 4 月 1日 から 令和 11 年 3月31日 まで

4. 警備の目的

本業務は、奈良先端科学技術大学院大学(以下「本学」という。)の行っている学術及び研究に及ぼす影響が大なることを認識し、本学における建物内外の異常及びその周辺における災害、盗難並びに交通整理等、事故発生の予防とこれらの排除、不審者の警戒に努め業務の円滑な運営に資することを目的とする。

5. 業務条件

(1) 関係法令等の遵守

受注者は、業務の履行に当たり、警備業法、労働基準法、労働安全衛生法その他適用を受ける関係法令及び本学の規則等(消防計画)を遵守し、安全な業務の履行を図る。
また、教育指導に万全を期し、風紀、衛生、勤務規律の維持に責任を負う。

(2) 業務実施計画書

業務に際し、業務体制表、緊急連絡先を施設課に提出する。なお、交代要員を確保すること。

(3) 守秘義務

業務関係者は、業務上知ることのできた事項を他に漏らし、又は他の目的に利用してはならない。本業務を退いた後も同様とする。

(4) 災害時の対応

災害時には本学危機対策本部の指示に従う。

(5) 施設の使用

業務上使用する部屋は防災センター及び仮眠室等(29㎡)であり、使用料は無償とする。

(6) 光熱水料等

業務上必要となる光熱水料は無償とする。但し、警備員が着用する制服、消耗品等は、受注者負担とする。

(7) O A 機器等

ノートパソコン及びデジタルカメラ等は受注者で負担する。ただし、複合機は無償とする。

(8) 通信費等

通信に関する費用は受注者で負担する。なお、学内LAN回線は使用できない。

(9) 交通費等

交通に関する費用は受注者で負担する。なお、学内のサービス駐車場は使用不可であるため、車で通勤する場合は大学構内北側の高山サイエンスタウン駐車場を利用すること。

(10) R 型操作受講証

警備員は本学防災センターに設置された自動火災報知設備R型火災受信機の日常の操作方法についての受講証(以下「R型操作受講証」という。)を取得する。なお、着任後、1か月以内に取得し、1年に1回受講する。また、本受講証の発行先は下記とし、受講に関する費用は受注者で負担する。

ニッタン(株) 奈良営業所 0742-30-2111

(11) 知識の向上

受注者は、従事する警備員に対し防犯、防災監視機器等の操作に必要な知識及び技能に関する教育を行う。

(12) 警備員の増員等

電気設備定期点検の日(1年1回、10月第3日曜日 9時～18時)には4名増員する。

(13) 従事者の変更等

従事する警備員に変更がある場合は事前に書面にて申し出る。

(14) 鍵の管理

受注者は、防災センター内で保管している鍵を厳重に管理すること。紛失又は棄損した場合は、当該場所の鍵を取り替える。また、マスターキーを紛失又は棄損した場合は、当該建物全ての鍵を取り替える。なお、鍵の取替に必要な経費は全て受注者が負担する。

(15) 別契約業務との連携

業務責任者は、施設管理担当者の監督下に置いて、下記業務に関して業務責任者との調整を図り、円滑に業務を実施する。

業務名：奈良先端大生駒団地保全業務

受注者：日東グローブシップ・カスタディアル・サービス株式会社

(16) 過失による事故等

受注者は、警備員等の故意又は過失による事故発生について、損害賠償の責を負う。

(17) 引継ぎ

新旧の両受注者は相互に協力し、業務の引継ぎを滞りなく済ませること。なお、引継ぎ期間にかかる費用については、新受注者の負担とする。また、受注者は、契約期間が終了する6ヶ月前までに、業務の注意点をまとめた引継ぎ書を作成し、発注者にデータ(ワード形式等)で提出する。

(18) 協議

本仕様書に明示していない事項について、実施上疑義を生じたときは、施設管理担当者と協議する。また、本仕様書は奈良先端大警備業務の概要を示すものであるが、本書に示されていない事項であっても現場の状況に応じ、軽微な業務で大学が必要と認める業務については、請負金額の範囲内で実施する。

6. 警備員の資格・条件

受注者は原則、自社の社員を配置すること。なお、警備員は警備業法第14条1項に該当しない者とする。

(1) 警備責任者(1名)

受注者は、下記の要件を全て有する者を「警備責任者」として選任する。なお、警備責任者は現場施設警備員を兼ねることが出来る。その場合は、下記(2)の条件も有すること。

- 1) 心身共に健全で、警備業務を十分に遂行できる能力を有すること。
- 2) 普通救命講習修了証を有すること。
- 3) R型操作受講証を有すること。ただし、着任後、1か月以内に取得すればよいものとし、1年に1回受講する。
- 4) 下記のいずれかの資格を有すること。
 - a) 施設警備業務に係わる警備員等の検定に関する規則(以下「検定規則」という。)第4条に規定する施設警備業務1級の合格証明書の交付を受けていること。
 - b) 検定規則第4条に規定する施設警備業務2級の合格証明書の交付を受けている警備員であって、当該合格証明書の交付を受けた後、3年以上の施設警備経験を有すること。
- 5) 下記のいずれかの資格を有すること。
 - a) 施設警備業務に係わる指導教育責任者証の交付を受けていること。
 - b) 上記a)に掲げるものの他、施設警備業務に係わる警備業法施行規則第38条第1項に規定する業務別教育を行うについて十分な能力を有する者として、都道府県公安委員会があらかじめ指定する者。
- 6) 警備責任者として、業務の遂行全体について現場施設警備員の指導監督を行える能力を有すること。
- 7) 建築保全業務共通仕様書(令和5年版 国土交通省大臣官房官庁営繕部)(以下「建築保全業務共通仕様書」という。)に記載の業務が行える能力を有すること。

(2) 現場施設警備員

A) 施設警備隊長(1名)

受注者は、下記の要件を全て有する者を「施設警備隊長」として本学に配置する。

- 1) 心身共に健全で、警備業務を十分に遂行できる能力を有すること。
- 2) 普通救命講習修了証を有すること。
- 3) R型操作受講証を有すること。ただし、本学に配置後、1か月以内に取得すればよいものとし、1年に1回受講する。
- 4) 下記のいずれかの資格を有すること。
 - a) 検定規則第4条に規定する施設警備業務1級の合格証明書の交付を受けていること。
 - b) 検定規則第4条に規定する施設警備業務2級の合格証明書の交付を受けている警備員であって、当該合格証明書の交付を受けた後、3年以上の施設警備経験を有すること。
- 5) 施設警備隊長として、現場施設警備員の指導監督を行える能力を有すること。

6) 施設警備隊長として、平均で週40時間の現場勤務を行えること。

B) 施設警備隊員

受注者は、下記の要件を全て有する者を「施設警備隊員」として、適切な人材及び人数を本学に配置する。

- 1) 心身共に健全で、警備業務を十分に遂行できる能力を有すること。
- 2) 普通救命講習修了証を有すること。
- 3) R型操作受講証を有すること。ただし、本学に配置後、1か月以内に取得すればよいものとし、1年に1回受講する。
- 4) 下記のいずれかの資格を有すること。
 - a) 検定規則第4条に規定する施設警備業務1級の合格証明書の交付を受けていること。
 - b) 検定規則第4条に規定する施設警備業務2級の合格証明書の交付を受けていること。
 - c) 防災センター要員講習の修了証若しくは自衛消防業務講習の修了証の交付を受けていること。ただし、修了証は業務期間中、有効であること。
- 5) 1年以上の施設警備経験を有すること。

7. 業務内容

(1) 共通事項等

- 1) 警備員数、警備時間及び巡視時間等は、警備体制一覧表のとおりとする。
- 2) 交代により休憩、仮眠を取ることが出来るが、業務が発生した場合は直ちに対応すること。
- 3) 警備中に異常を発見したとき又は異常の発生があると予見したときは、現場において防止等の最善の処置を講じ、直ちに関係者への連絡及び報告を行うこと。
- 4) 火災その他緊急事態発生の場合、直ちに現場での確認と処置を行い関係者への連絡及び報告を行うこと。
- 5) 大学行事等により作業を依頼された場合は協力すること。
- 6) その他、本仕様書に明示していない事項については、建築保全業務共通仕様書による。

(2) 施設警備業務

本警備業務は防災センターにおける座哨警備であり、施設警備隊長及び施設警備隊員で行う。24時間対応できるように常に1人以上で行うこと。警備詳細は下記の通りとする。

A) 監視業務

- 1) 防災センター(事務局棟1階)において各機器(防犯設備、防災設備、防犯カメラ設備、入退室管理システム等)による監視及び操作を行う。
- 2) 各機器の監視を行い、本学施設課(以下、単に「施設課」という。)の指示により操作を行う。
- 3) 各機器の監視で異常を発見したときは、巡回警備員と連携をとり、直ちに現場確認を行う。
- 4) 夜間等において、入構カードを不携帯の本学の学生及び教職員に対する入構措置については、インターホン及び入退室管理システムにより適宜対応する。

B) 鍵貸出業務

- 1) 各室等の鍵の授受を行う。鍵の貸出及び返納については、その都度「鍵貸出授受簿」(様式はP7参照)に記録すること。

C) 受付業務

- 1) 休日・夜間の郵便物、宅配便の受付業務を行う。
- 2) 新聞は毎日受取りを行い、施設管理担当者の指示する場所への移送、設置等を行う。
- 3) 事務局棟のサービス駐車場の駐車手続を行う。
- 4) 学外者に場所を尋ねられた場合、図面等による案内を行う。

D) 電話交換業務

- 1) 時間外の代表電話及び本学への緊急等の連絡の受付及び取次を行う。
- 2) 緊急等の連絡は別途通知する本学危機管理マニュアル等に従って、受付及び取次を行う。
- 3) 緊急等の連絡は報告書として取りまとめ、作成データと共に施設管理担当者あてにメールで送信する。

E) 工事にに関する業務

- 1) 施設課の指示に従い、当該作業場所の遠隔解錠及びメタルキーによる施解錠を行う。
- 2) 施設課の指示に従い、駐車許可書・作業許可書・メタルキー・カードキーの貸出を行

う。

(3) 巡回警備業務

本警備業務は上記(2)の座哨警備で対応できない現場業務を行うものであり、24時間対応できるように常に1人以上の人数で行う。施設警備員と連携をはかり、柔軟に対応を行う。

A) 巡視警備

- 1) 巡視警備は、警備体制一覧表に示した時間及び別図「巡視ルート」(以下「別図」という)による定線巡視を行う。昼はCルートを行い、夜間はAルート・Bルートを交互に行う。また、警備員の判断により経路を変更し巡視する乱線巡視を適宜行う。
- 2) 屋外巡視は構内の屋外部分を巡視し、迷惑駐車取締まりの他、不審者の有無、事件、事故等の早期発見、予防に努める。
- 3) 屋外巡視において、路上駐車やサービス駐車場に無断駐車(以下「迷惑駐車」という)しようとする者には、高山サイエンスタウン駐車場に駐車するよう依頼する。また、迷惑駐車を発見した場合、駐車場等への移動の依頼文を適切な方法でフロントガラス等に添付し、発見時刻・ナンバープレート控え、写真(遠景・近景)を撮影する。
- 4) 屋内巡視は、施錠箇所の確認、照明、空調の切り忘れ、不審者の有無、火災及び盗難等の予防並びにこれらの早期発見と初期防災に努める。

B) 構内の車両関係に関する業務

- 1) 施設管理担当者の指示があった場合、カラーコーン等で構内サービス駐車場の確保を行う。
- 2) 施設管理担当者の指示があった場合、構内の車止めの解除及び設置を行う。

C) 旗掲揚に関する業務

- 1) 国旗・学旗について、平日、祝日及び大学の行事日の午前8時30分掲揚、午後5時15分降納業務を行う。
- 2) 悪天候の場合、天候が回復してから掲揚し、掲揚後に悪天候になった場合、速やかに降納する。ただし、天候が回復したら再掲揚を行う。
- 3) 外国旗や半旗の掲揚依頼があれば対応する。
- 4) その他、施設管理担当者の指示に従う。

D) 工事にに関する業務

- 1) 施設課の指示に従い、当該作業場所の施解錠を行う。
- 2) 施設管理担当者の指示があった場合、作業中の立会を行う。
- 3) 作業終了後の現場周辺を巡視し、戸締り、照明の消し忘れ等を確認する。

E) 監視警備や緊急対応に関する業務

監視業務で異常が発生した場合、施設警備員と連携をはかり、直ちに現地の確認を行う。

8. 警備報告

- (1) 日報として、警備の状況及び異常の有無等を翌朝(8:40~9:00)に、施設課に警備報告書により報告し提出する(様式はP8参照)。また、土曜日、日曜日、祝祭日及び年末年始(12月29日から1月3日)、創立記念日(10月1日)、夏季一斉休業(8月15日前後の平日3日間)(以下「休日」という。)の報告並びに提出は、翌平日に行う。
- (2) 下記に関しては、月初に1度、前月の分をまとめて指定されたデータ形式で提出を行う。
 - A) 上記、7-(2)-C)-3)に関する受付簿のリスト(エクセル形式)
 - B) 上記、7-(2)-E)-2)に関する工事関係者貸出簿のリスト(エクセル形式)
 - C) 上記、7-(3)-A)-3)に関する迷惑駐車リスト(エクセル形式)及び写真データ
- (3) 下記の緊急案件に関しては、作成後すぐにメールで指定されたデータ形式で提出を行う。
 - A) 上記、7-(2)-D)-3)に関する緊急対応に関する報告書(エクセル形式)
 - B) 上記、7-(1)-3)に関する現場写真等のデータ

9. 警備員の服装及び規律

- (1) 警備員の制服、制帽等は、警備業法に基づく所定のものを常時着用することとし、事前に発注者の承認を受けること。また、名札等を着用すること。
- (2) 警備員は、誠実に業務を行い清潔な服装をし、本学構成員(教職員及び学生)及び外来者に不快感を与えないよう努め、真摯に対応すること。

a.警備体制一覧表

1. 施設警備業務 9:00～翌日9:00
2. 巡回警備業務 9:00～翌日9:00

施設警備員1名以上。防災センターにて座哨警備を行う。
(常駐場所)防災センターは事務局棟1F 別図参照。
巡回警備員1名以上。下記巡視時間に、屋内外
の巡視警備を行う。その他の時間は巡回警備を行う。

巡視警備時間表

開始時刻	終了時刻	屋内外 巡視警備
10:30	12:00	ルートC
16:00	17:30	ルートC
20:30	22:00	ルートB
1:45	3:15	ルートA
7:00	8:30	ルートC

b.巡視ルート(別図参照)

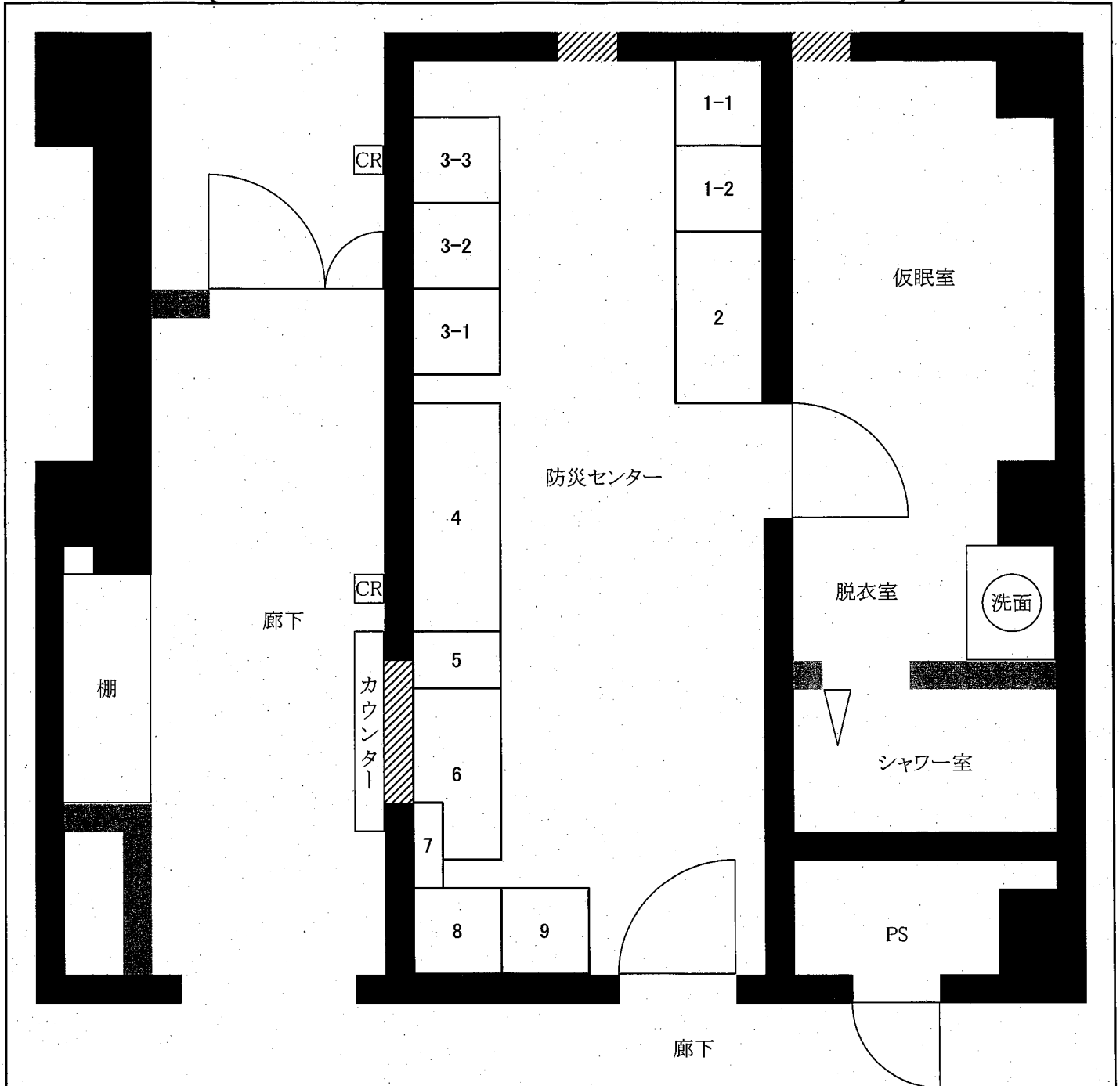
c.巡視対象建物等概要表

総称	棟名称	建設年度	構造	面積㎡	屋内 巡視警備	屋外 巡視警備
情報科学	A棟	H5,7	R7-1	9,402	○	○
	講義棟	H5	R1,S1	1,772	○	○
	B棟	H5,7	R7	8,698	○	○
バイオサイ エンス	C棟	H6,8	R7	8,845	○	○
	講義棟	H6	R6	1,513	○	○
	D棟	H6,8	R7	8,691	○	○
	放射線実験施設	H6	R2	1,382		○
	動物実験施設	H6,14	R2	1,101		○
	実験温室	H6	R1,S1	199		○
	分子育種温室	H8	R1,S1	482		○
	水棲動物飼育室	H14	S1	40		○
	温室準備室1	H15	S1	60		○
	温室準備室2	H6	S1	20		○
物質創成 科学	E棟	H10,12	R6-1	7,106	○	○
	講義棟	H10	R2	1,236	○	○
	F棟	H10,12	R6-1	7,559	○	○
	バイオナノプロセス実験施設	H15	S2	547		○
共通施設	学際融合領域研究棟1号館	H21	RC6-1	3,851	○	○
	大学会館	H5,11	R2	1,560		○
	事務局棟	H8,15	R3	2,483	○	○
	附属図書館	H8	R3	2,216	○	○
	学際融合領域研究棟2号館 (先端科学技術研究調査センター)	H8	R3	2,104	○	○
	ミレニアムホール	H12	R2	1,061	○	○
	学際融合領域研究棟2号館 (ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー)	H14	R3	1,512	○	○
	ゲストハウスせんたん	H16	R4	1,408	○	○
	事務局別館	H6	R3	2,125	○	○
学生宿舍	学生宿舍1棟	H5	R5	3,621		○
	学生宿舍2棟	H8	R5	2,082		○
	学生宿舍3棟	H6	R5	1,410		○
	学生宿舍4棟	H9	R5	2,104		○
	学生宿舍5棟	H11	R5	1,686		○
	学生宿舍6棟	H11	R5	1,390		○
	学生宿舍7棟	H12	R5	1,316		○
	学生宿舍8棟	H13	R5	1,628		○
	学生宿舍9棟	H5	R5	2,060		○

※屋内巡視警備は廊下等の共通場所を巡視する。

※屋外巡視警備は屋外を巡視する。

防災機器配置図
(事務局1階防災センター)



no.	機器	設置形態	概要	対象建物
1	自動火災報知設備	据置	自火報主受信機	全ての建物
2	防災表示装置	机上	自火報設備の補助表示装置	※机上に無線機も設置
3	非常放送設備	据置	非常放送用アンプ	職員宿舎を除くすべての建物
4	防犯設備	棚上	ガラス破壊センサ、人感センサによる機械警備	情報科学棟、バイオサイエンス棟、放射線実験施設、物質創成科学棟、事務局棟、附属図書館、学際融合領域研究棟2号館、大学会館、ミレニアムホール、ゲストハウスせんたん
5	キャビネット	床上	鍵箱	—
6	机	床上	机上にインターホン設置	【建物玄関用】情報科学棟、バイオサイエンス棟、物質創成科学棟、事務局棟、附属図書館、学際融合領域研究棟1号館、ミレニアムホール 【宿泊者用】ゲストハウスせんたん、【学生室用】学生宿舎1～9棟
7	警報盤類	壁付	各種警報、トイレ呼出表示	情報科学棟、バイオサイエンス棟、物質創成科学棟、附属図書館、学際融合領域研究棟1号館、ゲストハウスせんたん、大学会館、ミレニアムホール、事務局別館
8	防犯カメラ設備	据置	防犯カメラのモニタ、映像記録装置	情報科学棟、バイオサイエンス棟、動物実験施設、物質創成科学棟、事務局棟、附属図書館、学際融合領域研究棟2号館、学際融合領域研究棟1号館、ゲストハウスせんたん、屋外
9	入退室管理設備	PCラック上	カード錠、電気上の施開錠遠隔制御主装置	情報科学棟、バイオサイエンス棟、動物実験施設、水棲動物飼育室、実験温室、分子育種温室、物質創成科学棟、事務局棟、附属図書館、学際融合領域研究棟2号館、学際融合領域研究棟1号館、大学会館、ミレニアムホール、ゲストハウスせんたん、学生宿舎1, 2, 4, 5, 6, 7棟

警 備 報 告 書

補 佐

施設マネジメント係

令和 年 月 日 曜日天候

施設警備隊員(9:00～翌9:00)

氏名 勤務時間 : ~ : 印

氏名 勤務時間 : ~ : 印

氏名 勤務時間 : ~ : 印

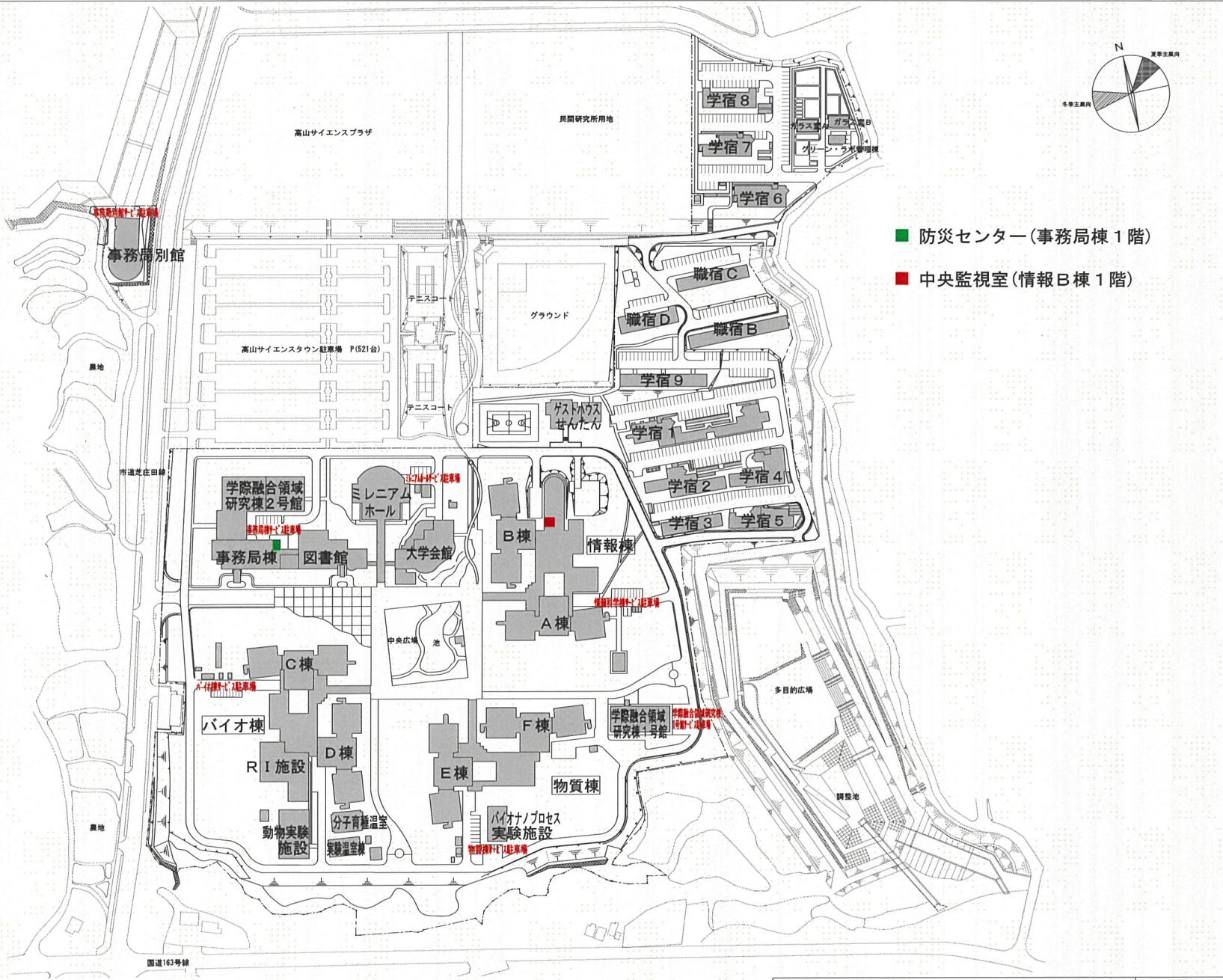
巡 回 者					
巡 回 ル ー ト					
巡 回 時 間	時 分	時 分	時 分	時 分	時 分
	時 分	時 分	時 分	時 分	時 分
建 物 周 辺	異常の有無	異常の有無	異常の有無	異常の有無	異常の有無
	有 / 無	有 / 無	有 / 無	有 / 無	有 / 無
建 物 内	異常の有無	異常の有無	異常の有無	異常の有無	異常の有無
	有 / 無	有 / 無	有 / 無	有 / 無	有 / 無

- ☐ 窓、扉に異常はないか ☐ 火災等危険はないか ☐ 不審者等はないか ☐ 迷惑駐車等の確認
☐ 鍵の授受等 ☐ 機器の異常はないか ☐ 新聞、郵便、小荷物等 ☐ 依頼事項の処理

☐現場施開錠() ☐現場施開錠() ☐現場施開錠()
開錠 時 分 開錠 時 分 開錠 時 分
施錠 時 分 施錠 時 分 施錠 時 分

連絡事項等

構内案内図



学際融合領域研究棟 2号館
(026) (048)

「凡 例」

- 施設の確認
- 巡回監視ルート

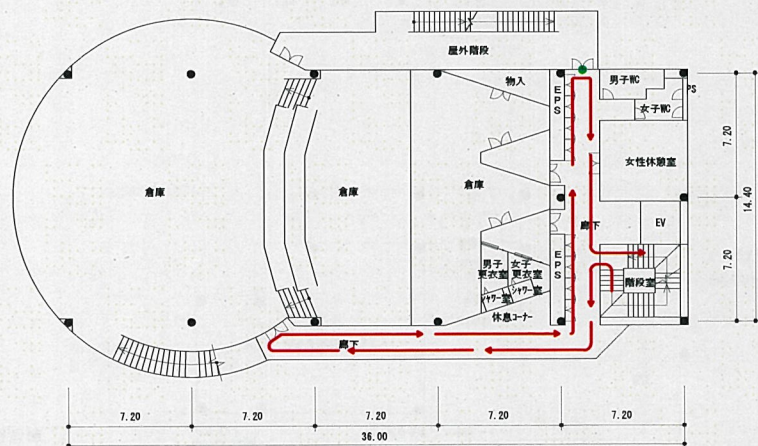
(026) 学際融合領域研究棟 2号館

(023) 事務局棟

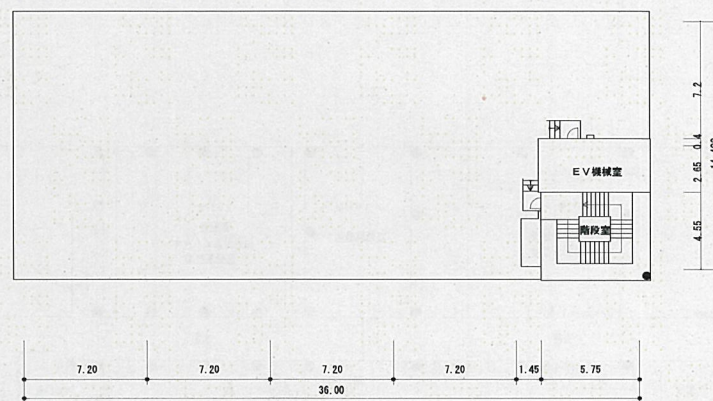
巡視ルートへ

巡視ルートより

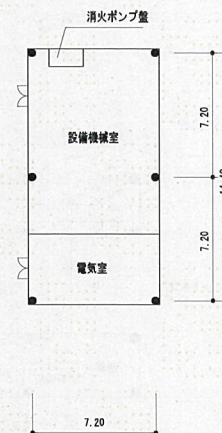
(023) 事務局棟 (025) 附属図書館



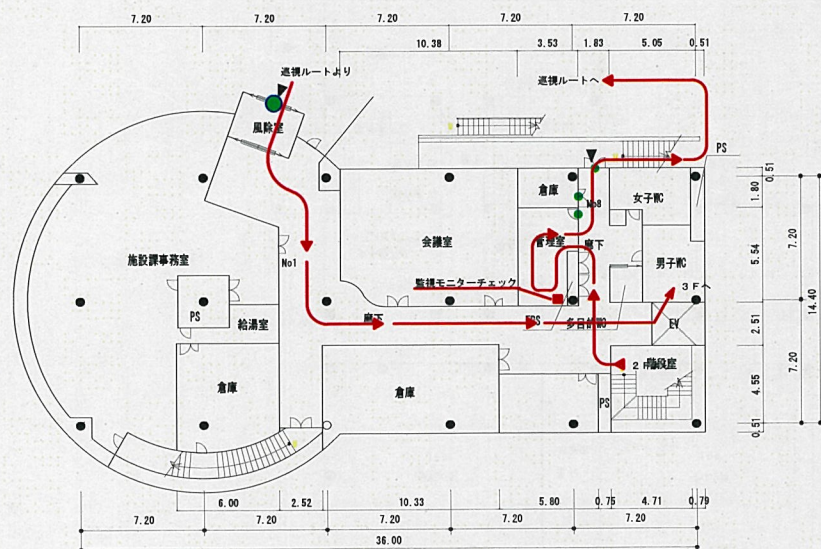
(050) 事務局別館 2階



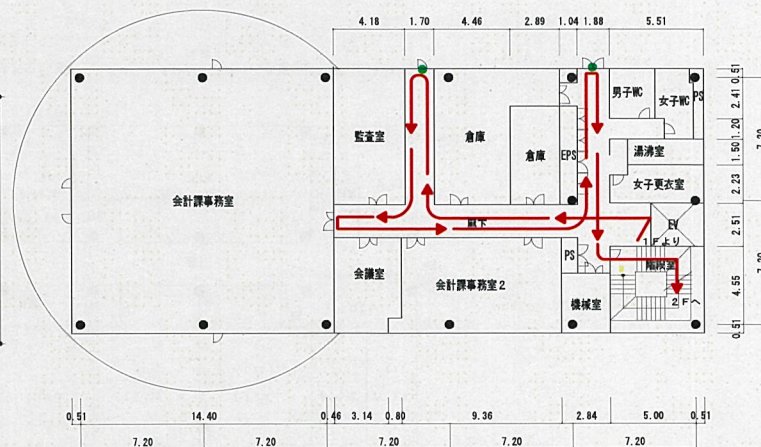
(050) 事務局別館 屋階



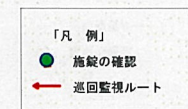
(050) 事務局別館 地階

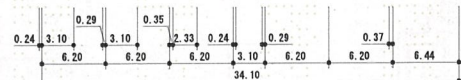


(050) 事務局別館 1階

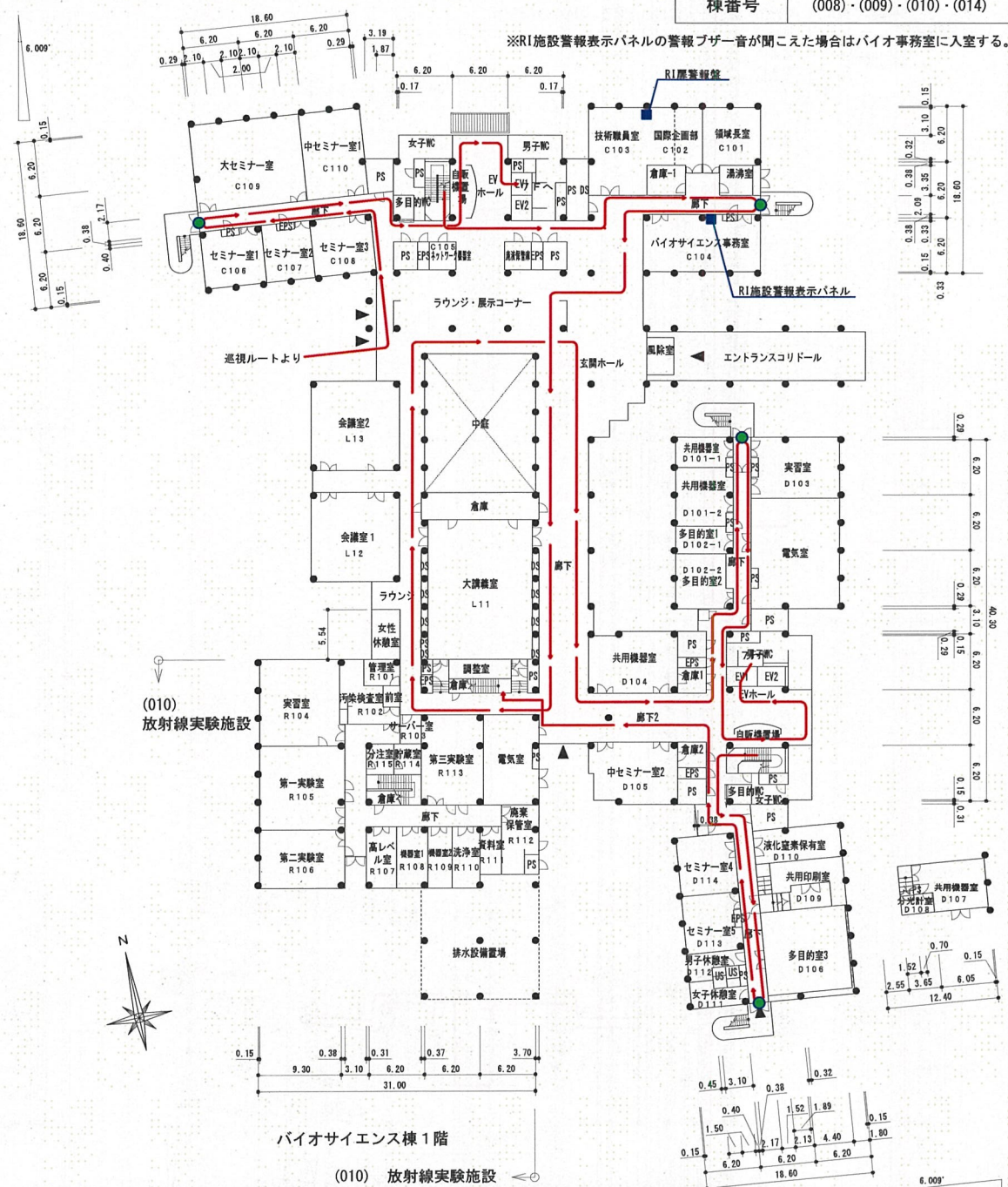
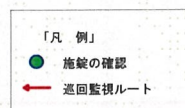


(050) 事務局別館 3階

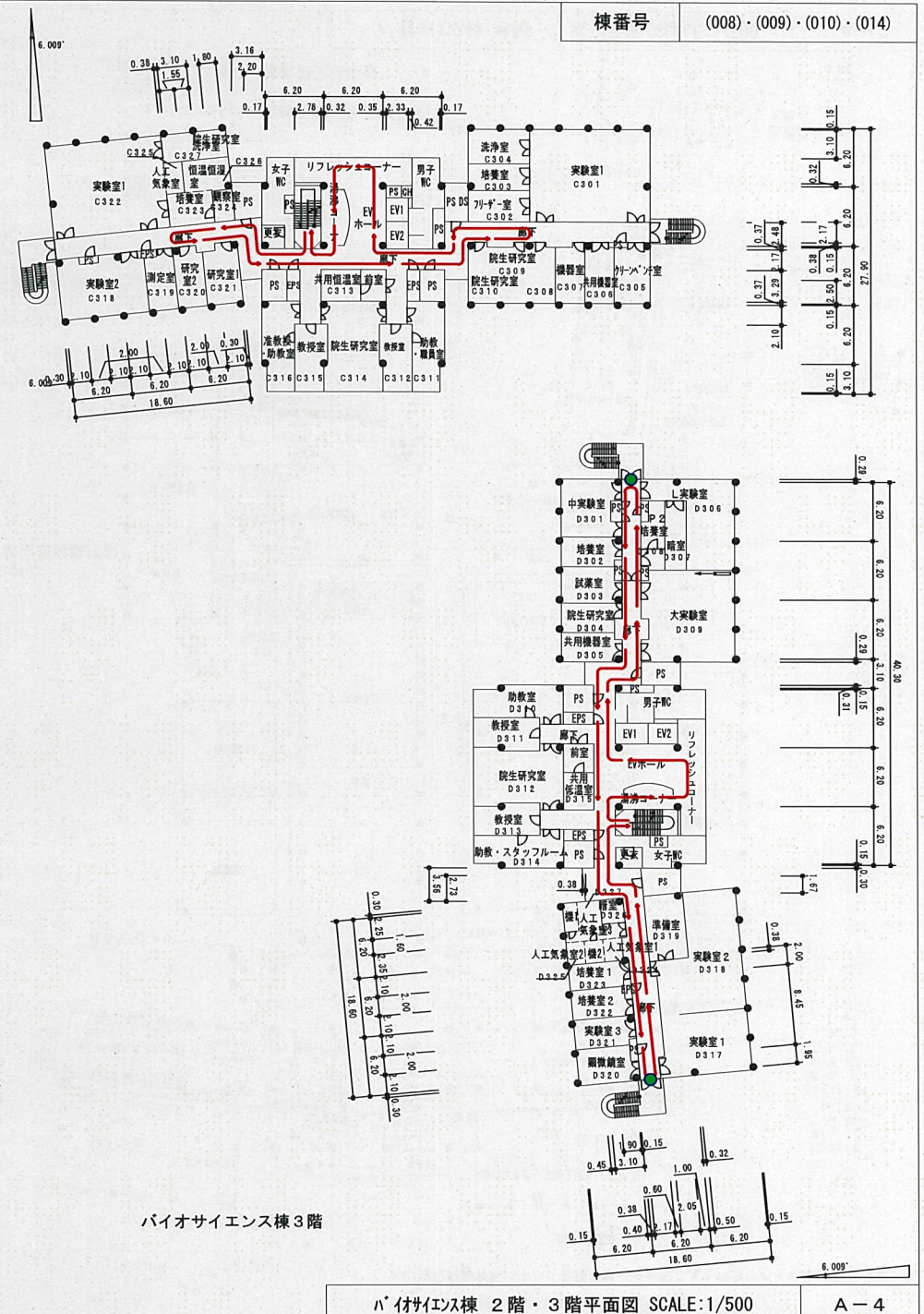
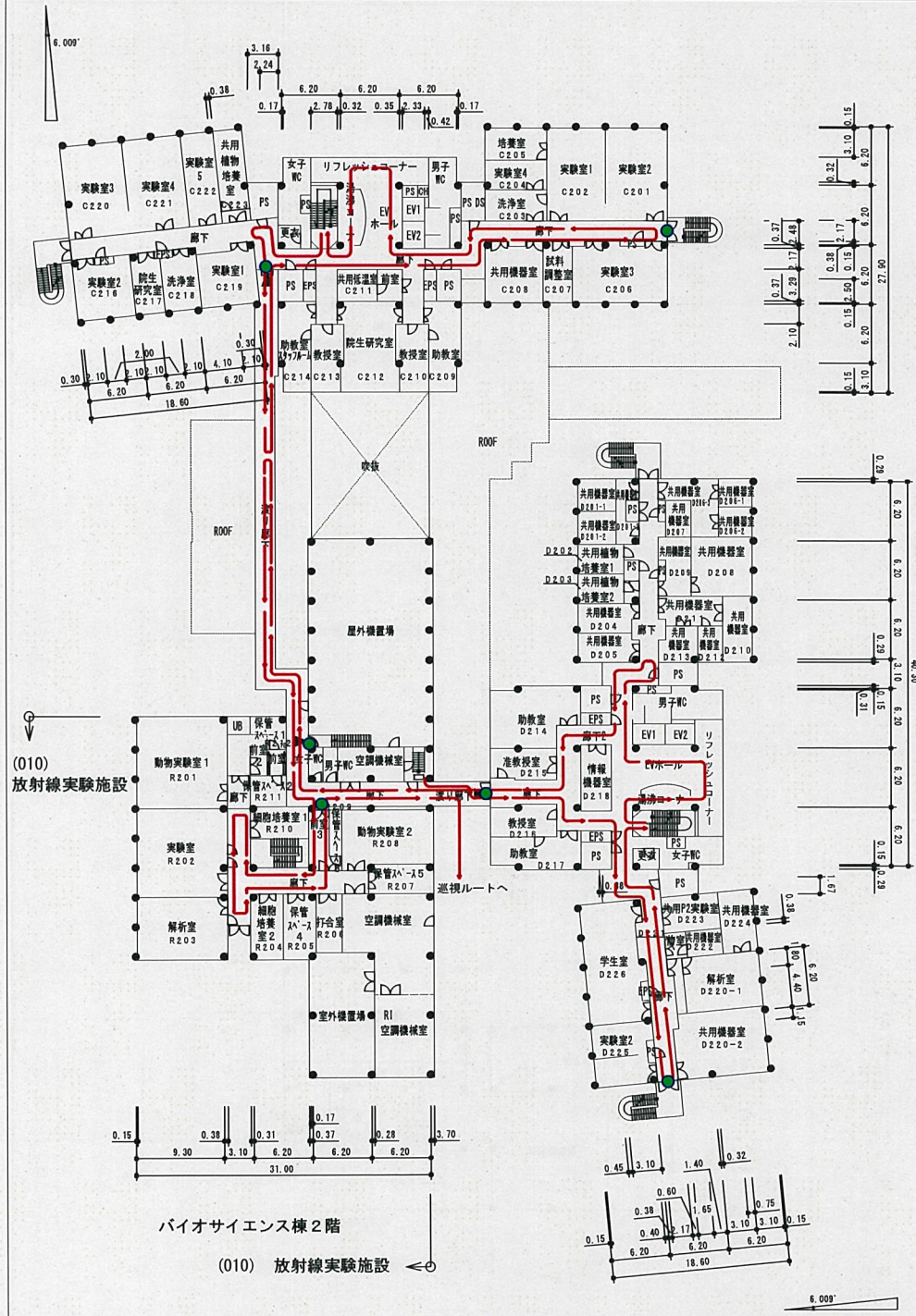


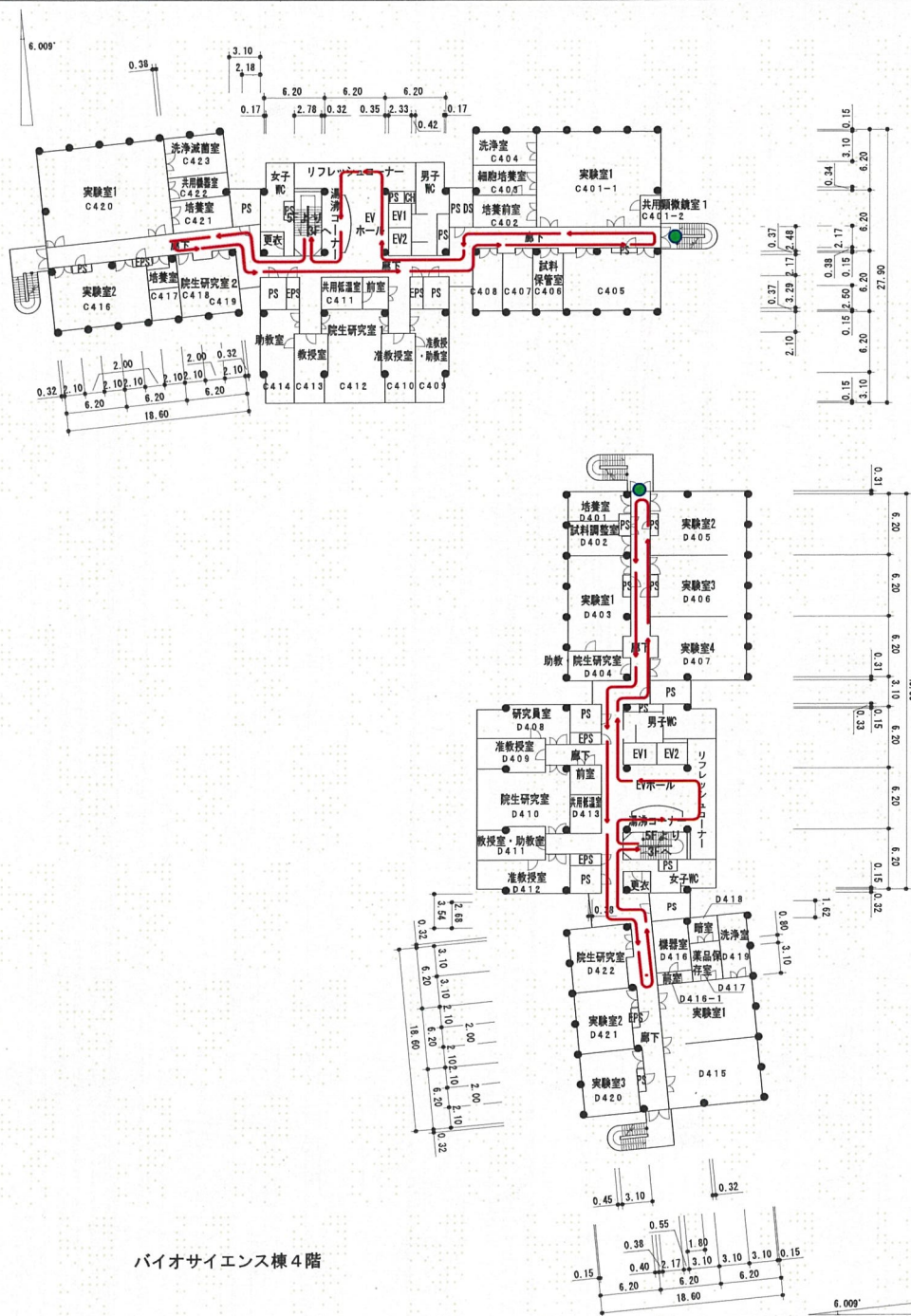


バイオサイエンス棟地階

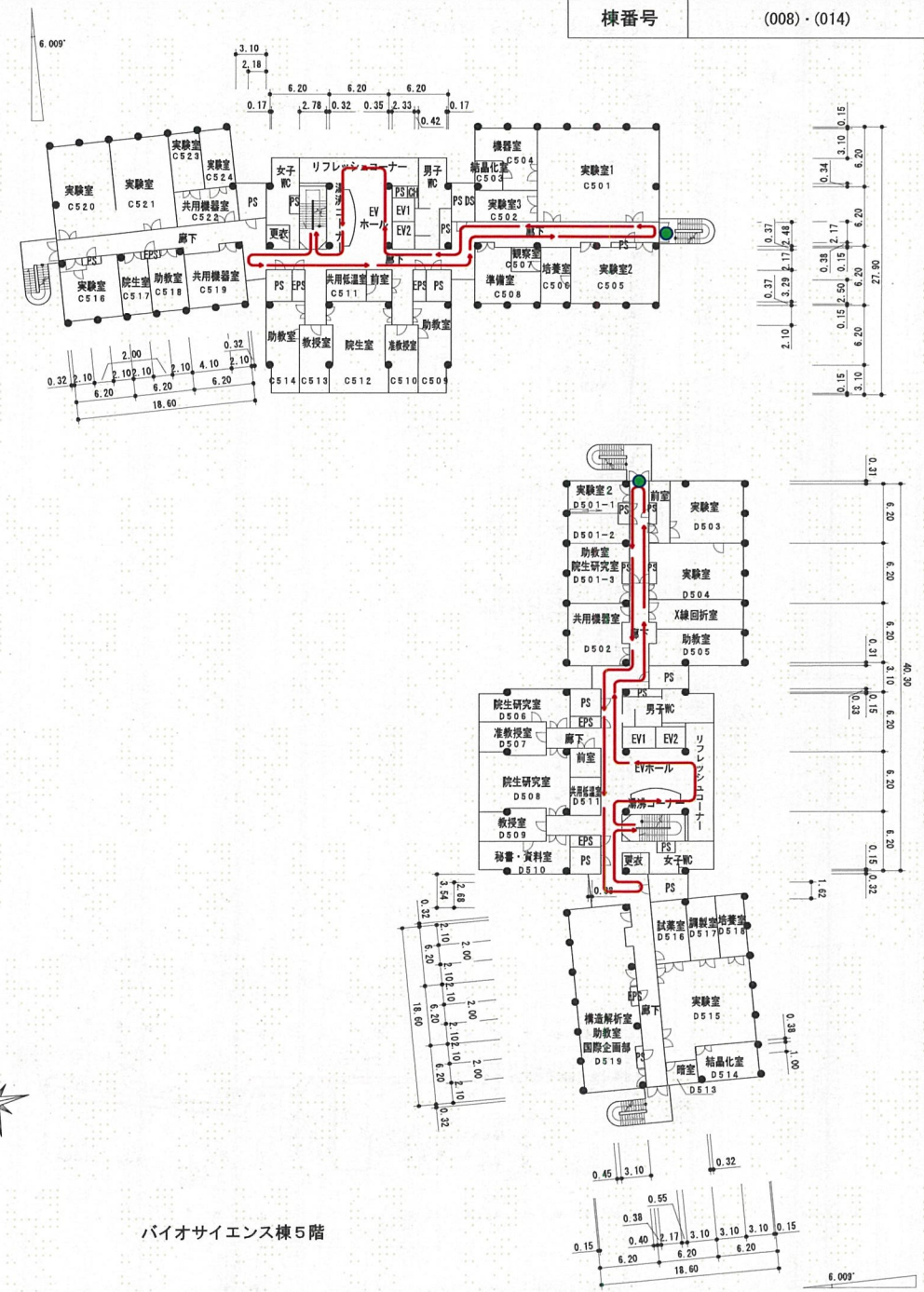


ハイサイエンス棟 地階・1階平面図 SCALE:1/500

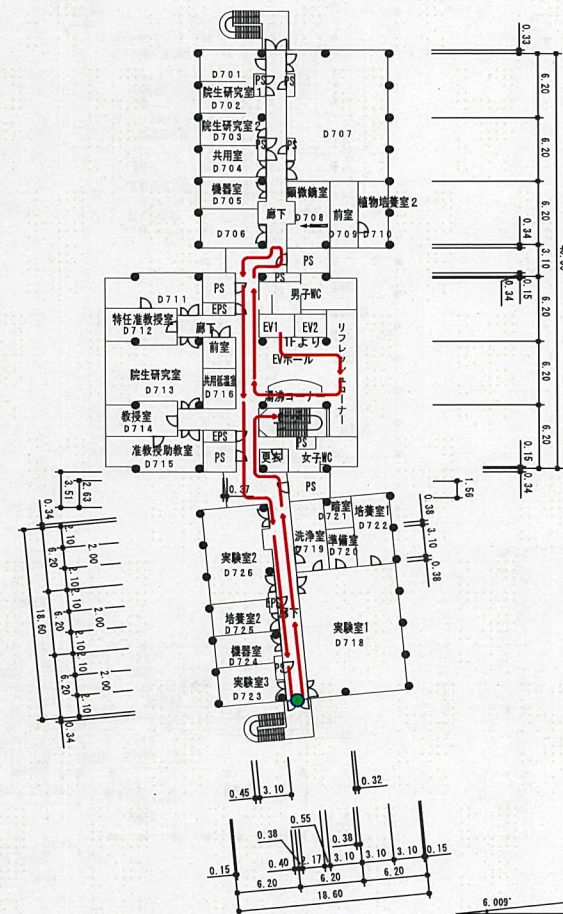
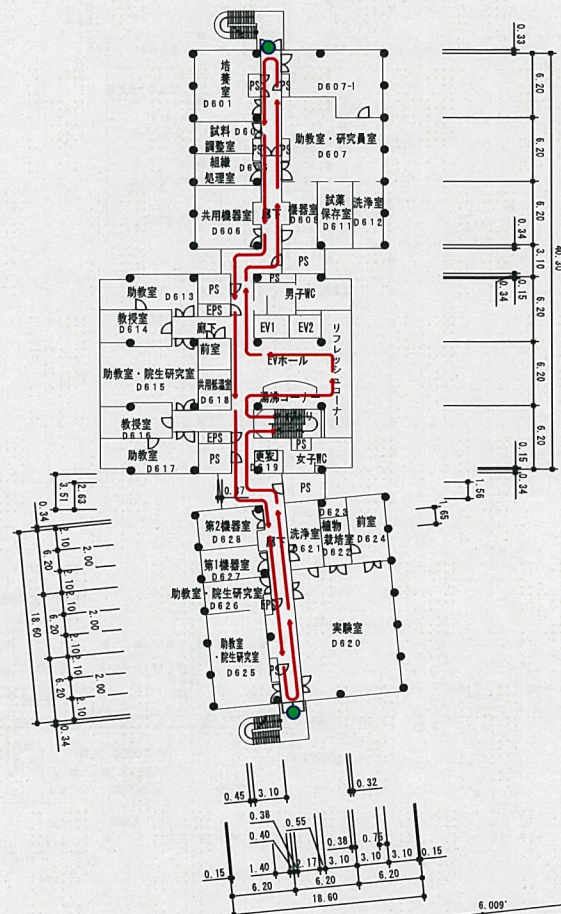
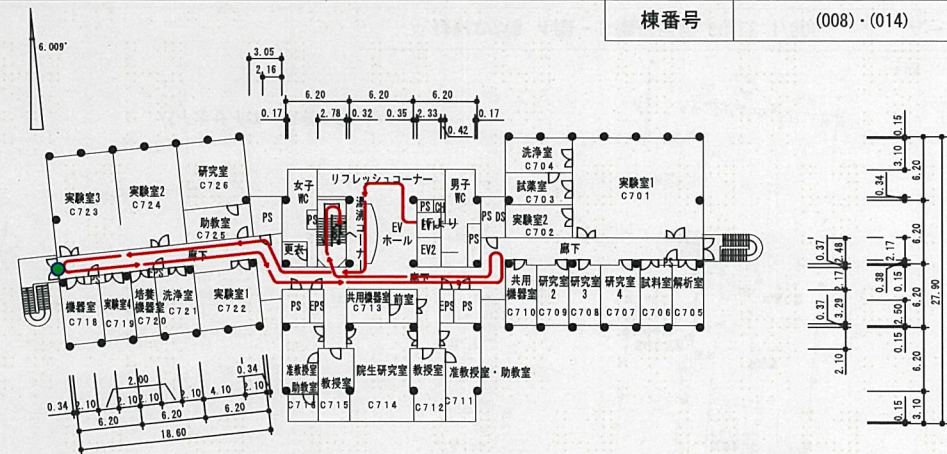
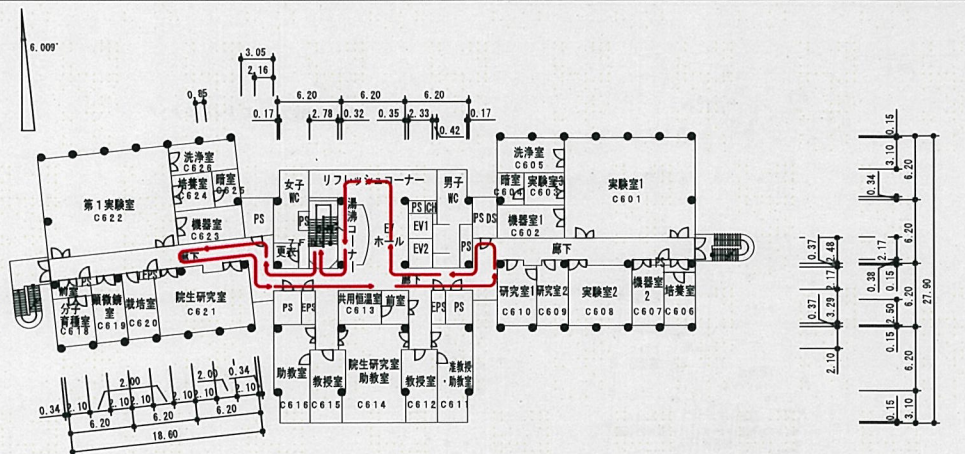




バイオサイエンス棟4階

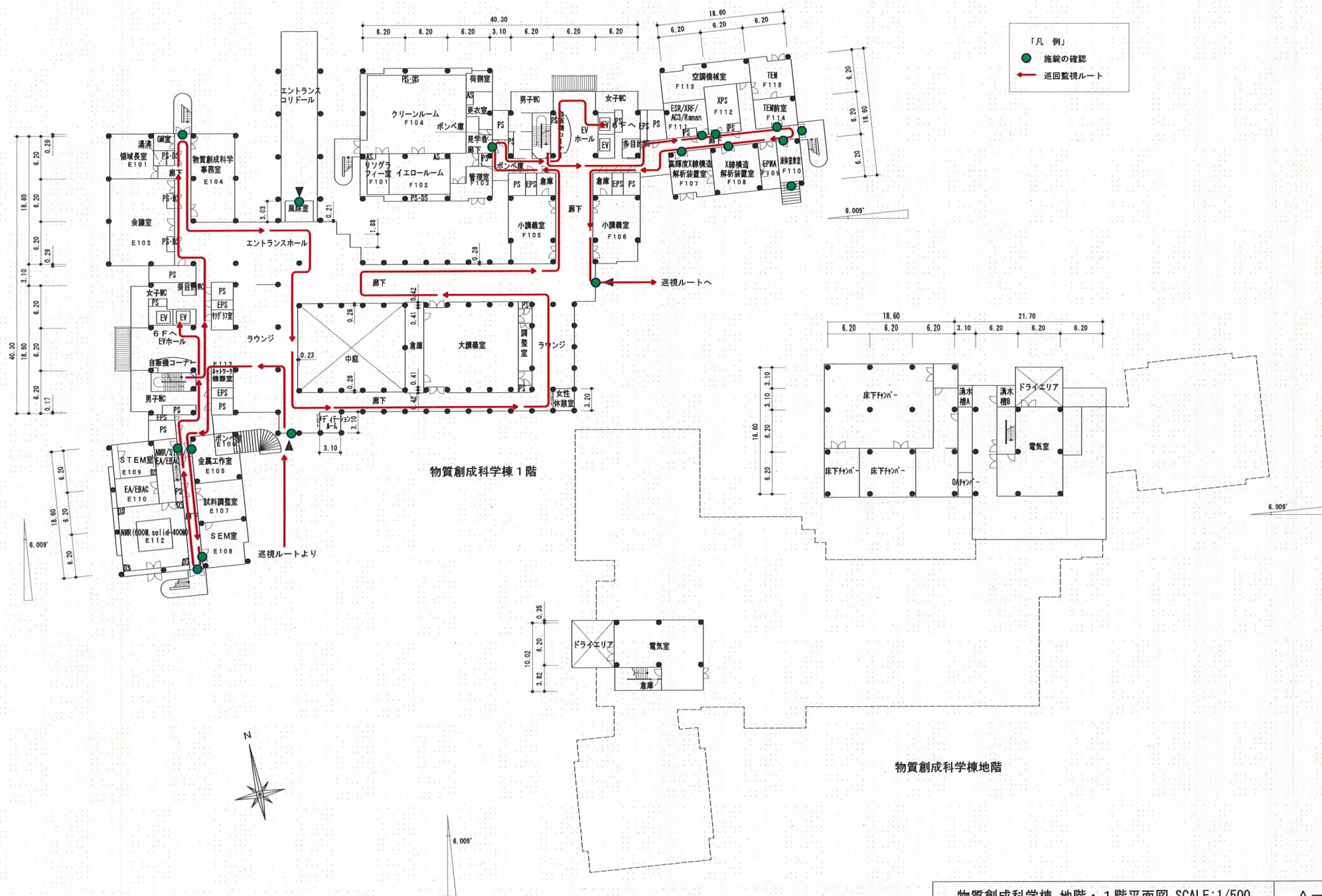


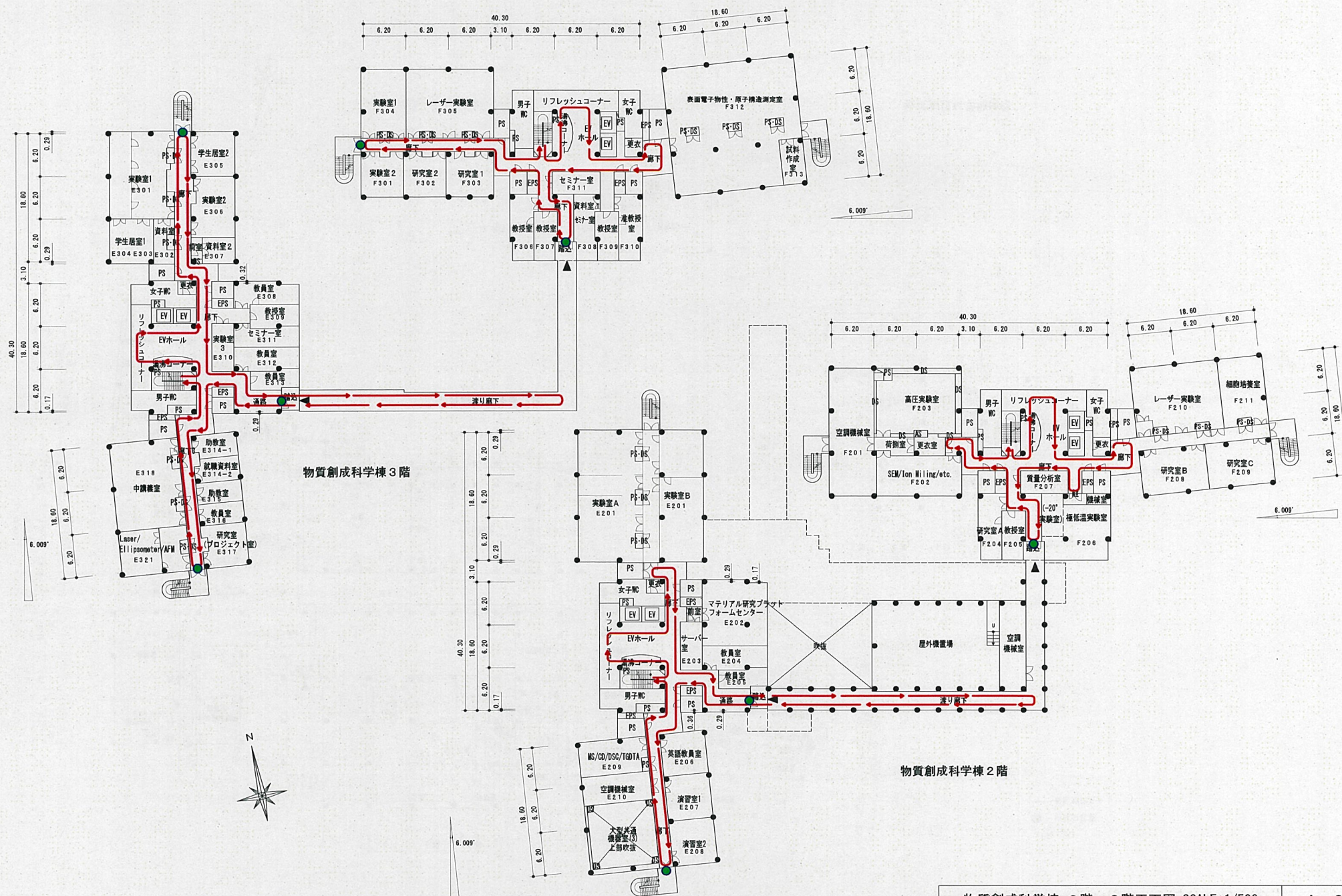
バイオサイエンス棟5階

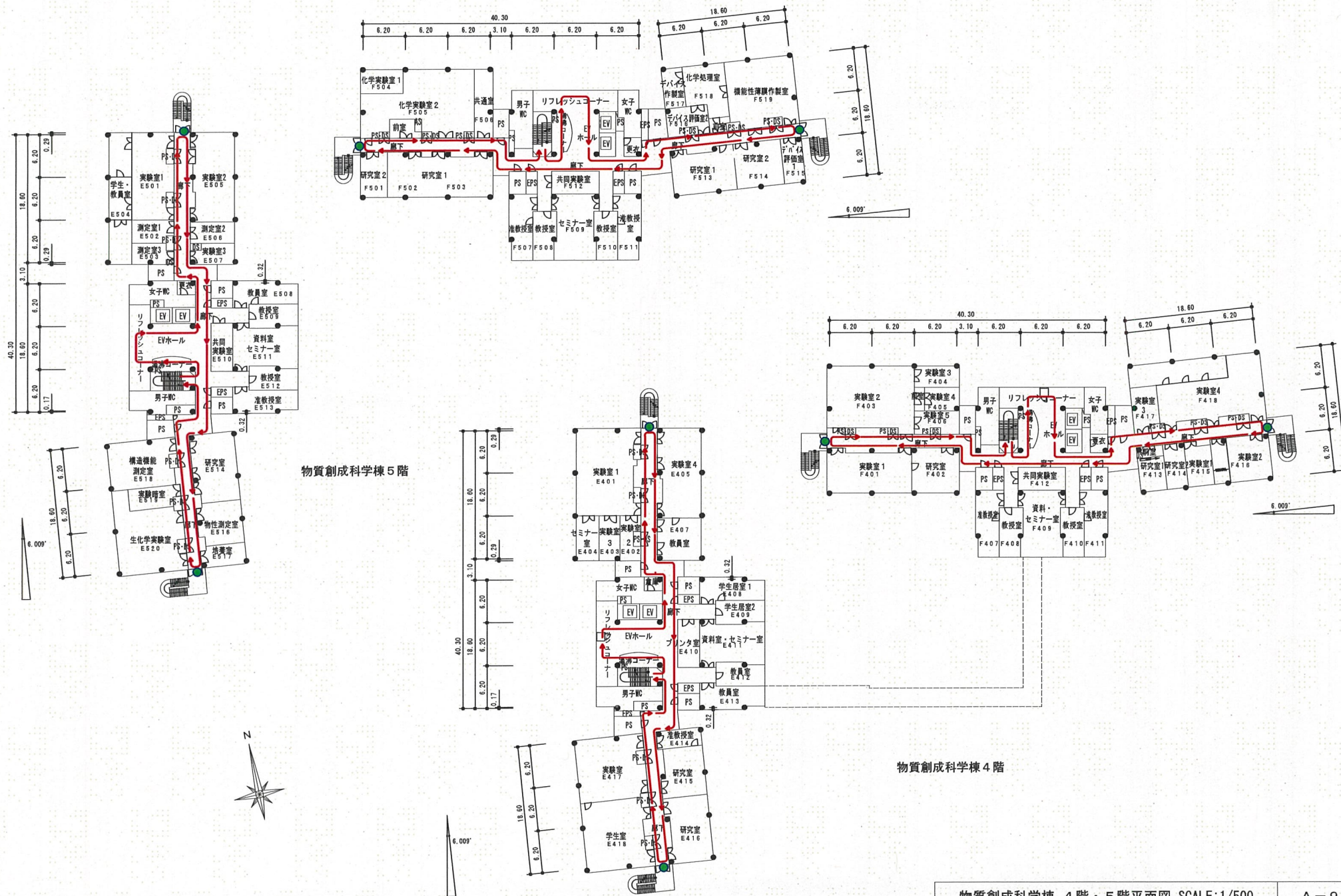


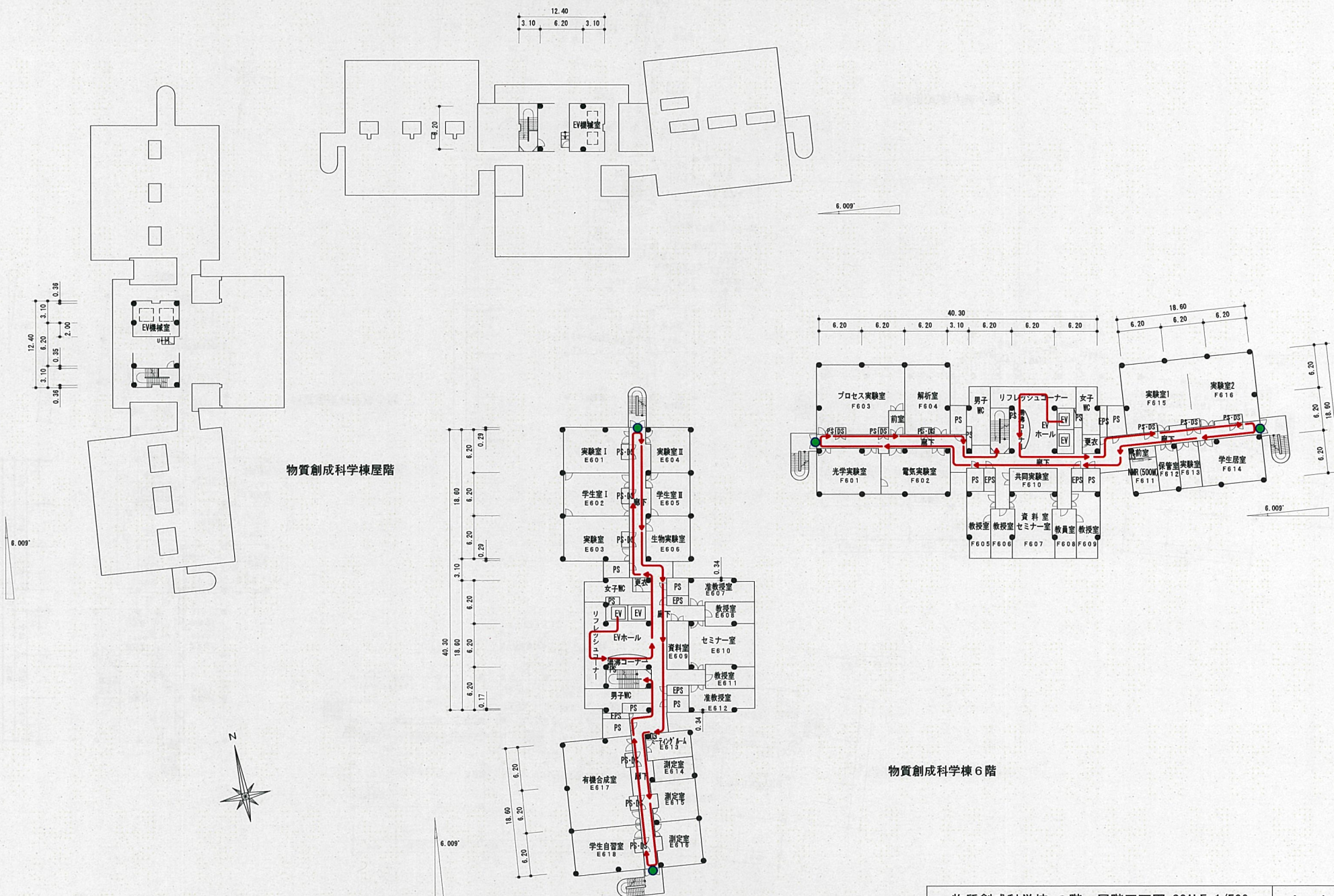
バイオサイエンス棟6階

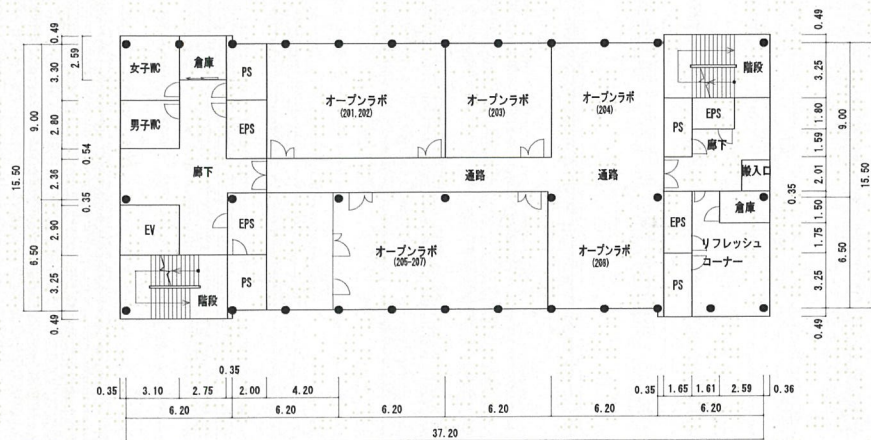
バイオサイエンス棟7階



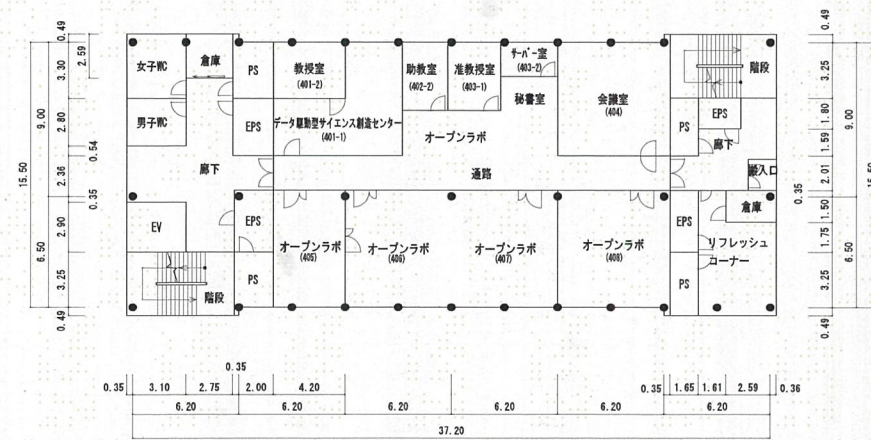




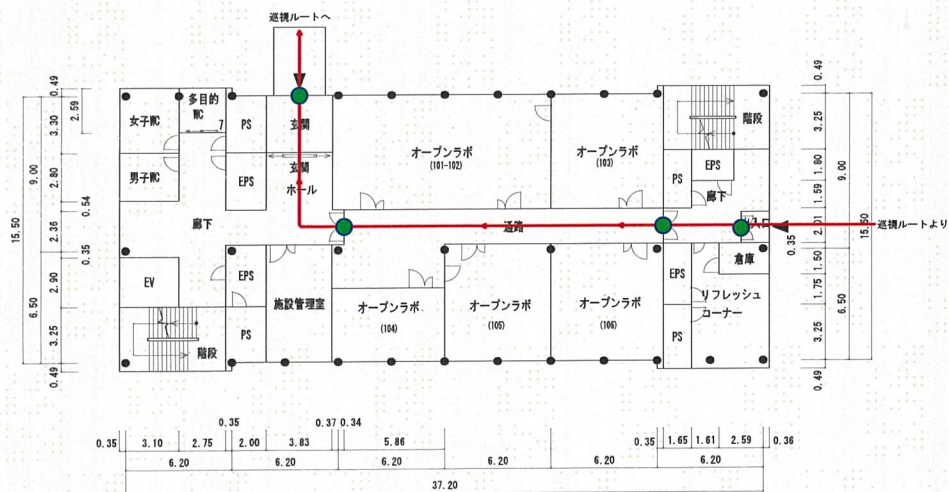




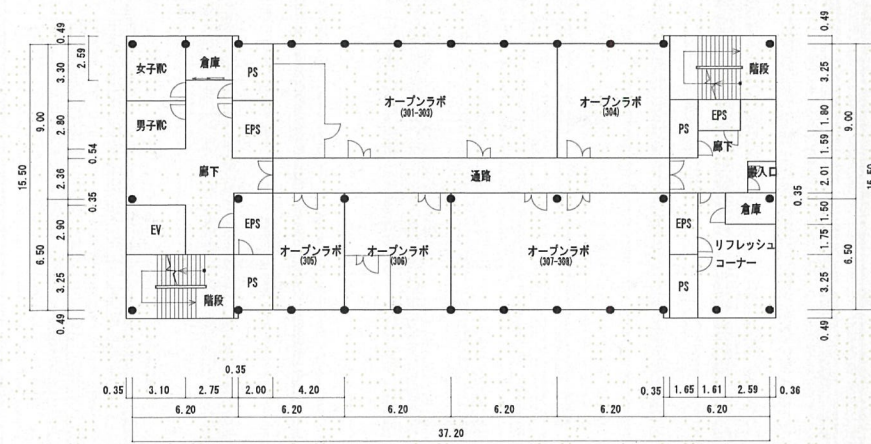
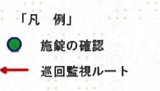
(053) 学際融合領域研究棟 1号館 2階



(053) 学際融合領域研究棟 1号館 4階

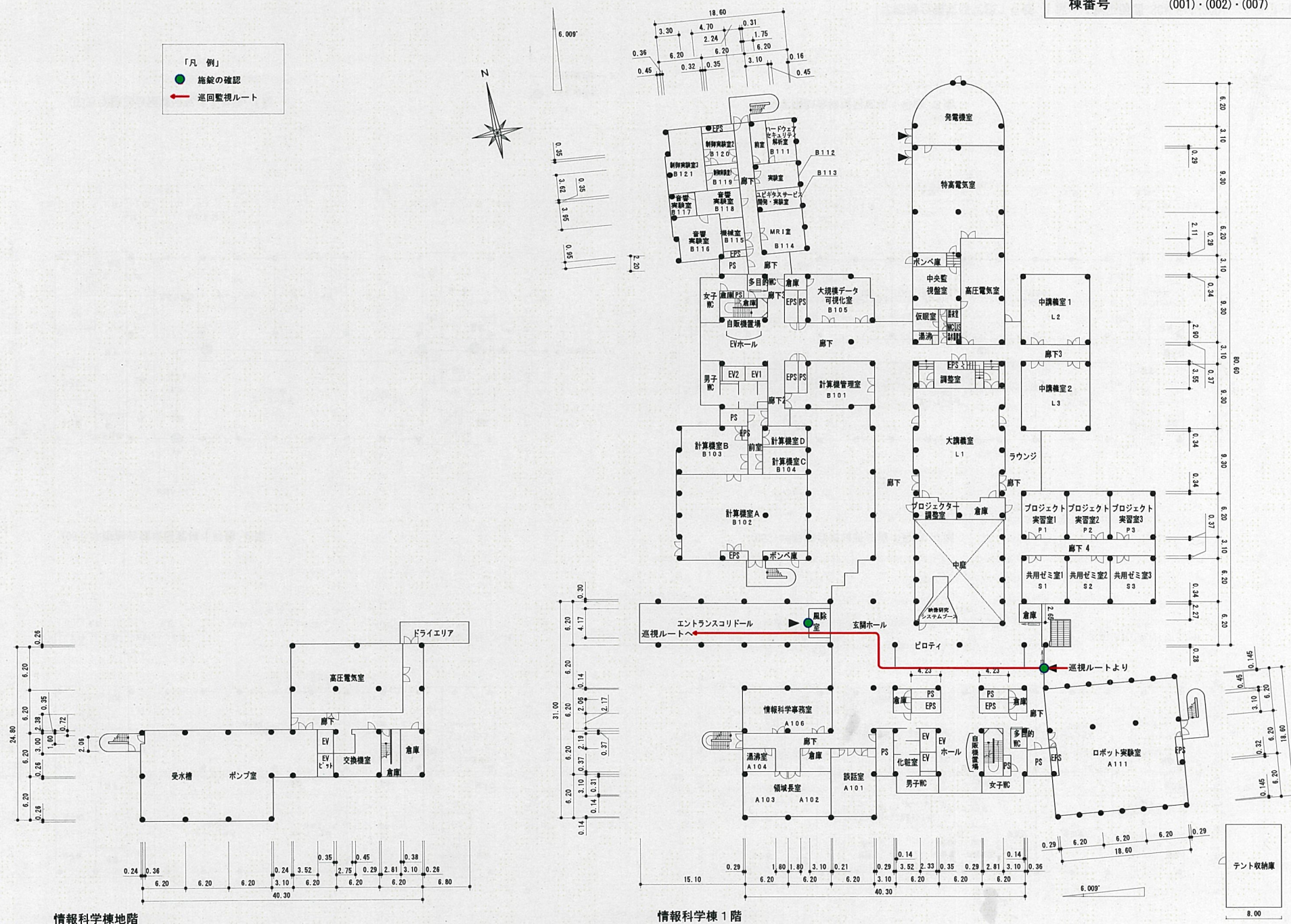


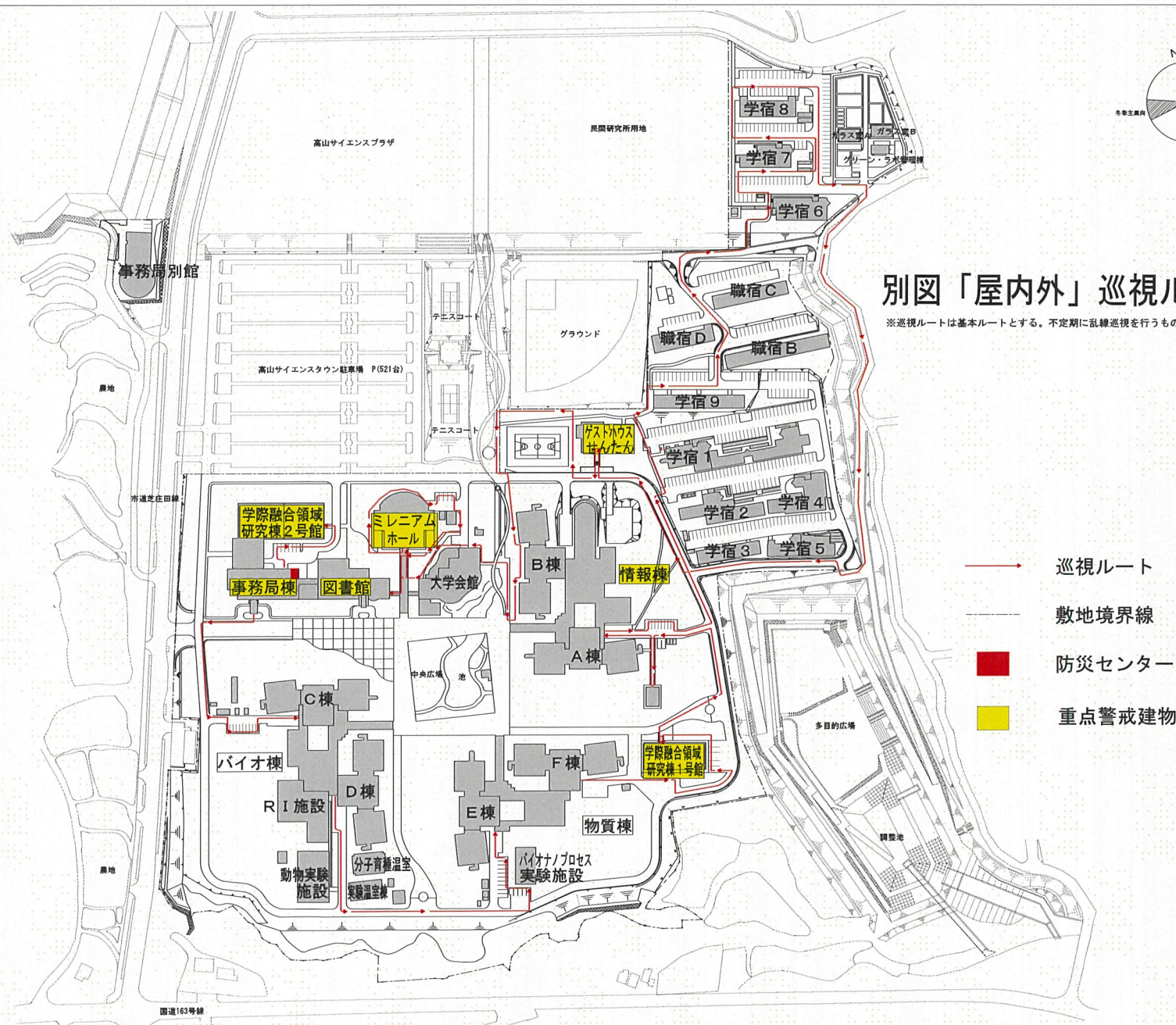
(053) 学際融合領域研究棟 1号館 1階



(053) 学際融合領域研究棟 1号館 3階



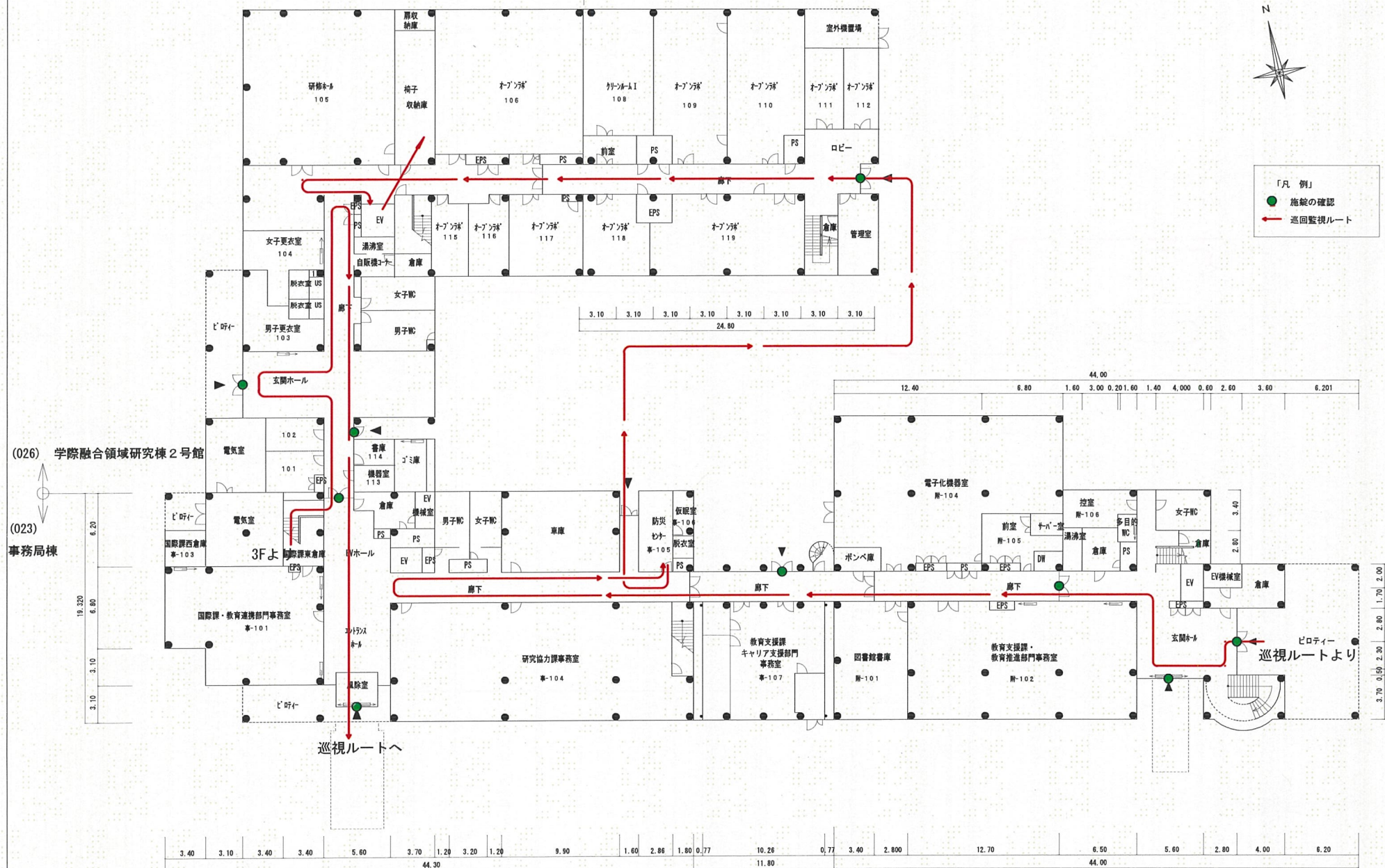




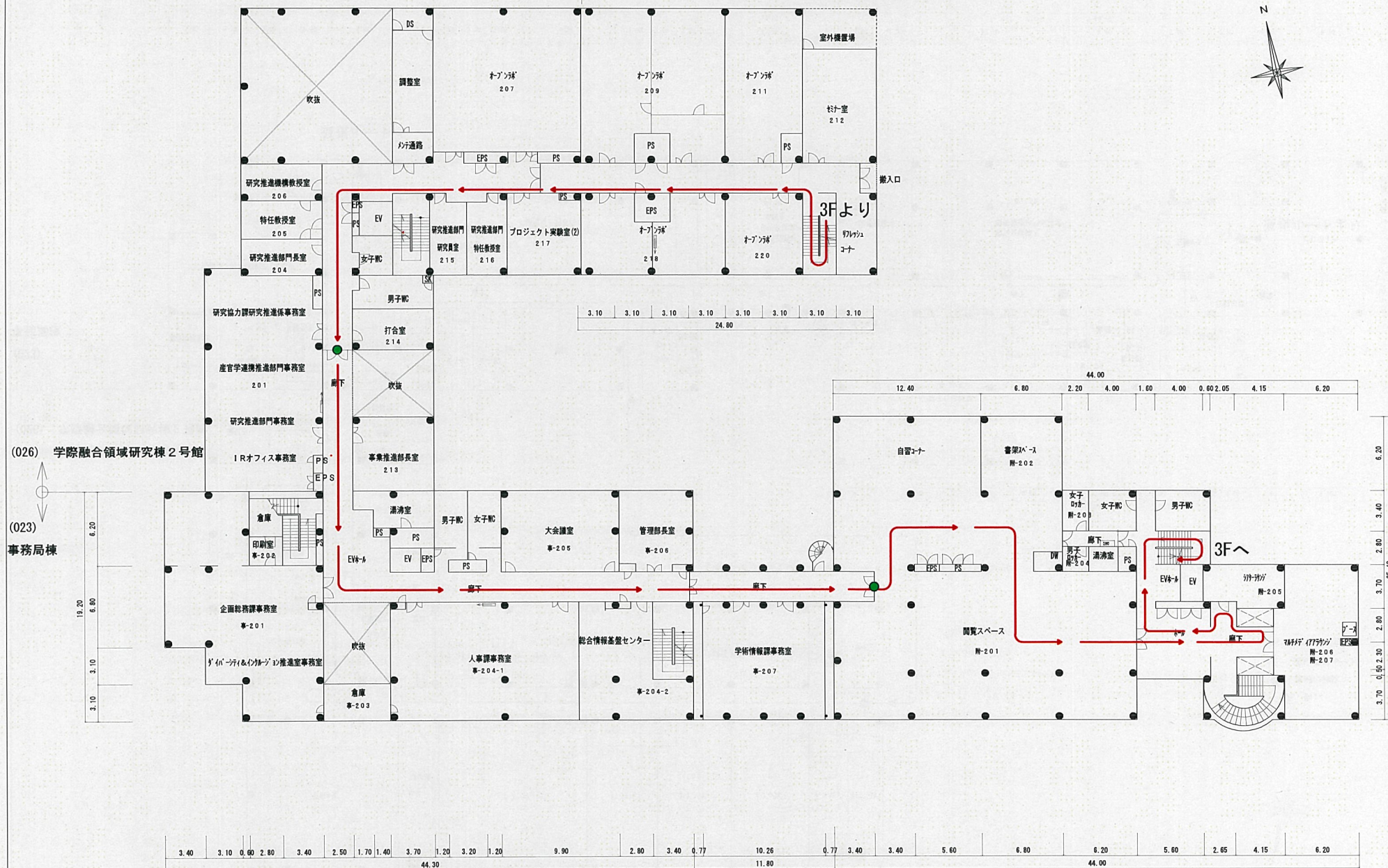
学際融合領域研究棟 2号館
(026) (048)



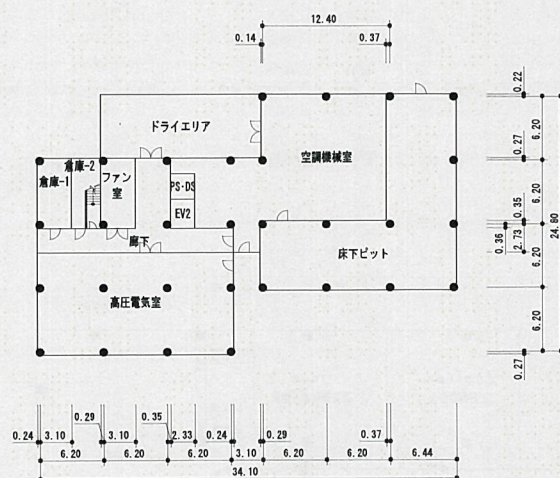
「凡 例」
● 施設の確認
→ 巡回監視ルート



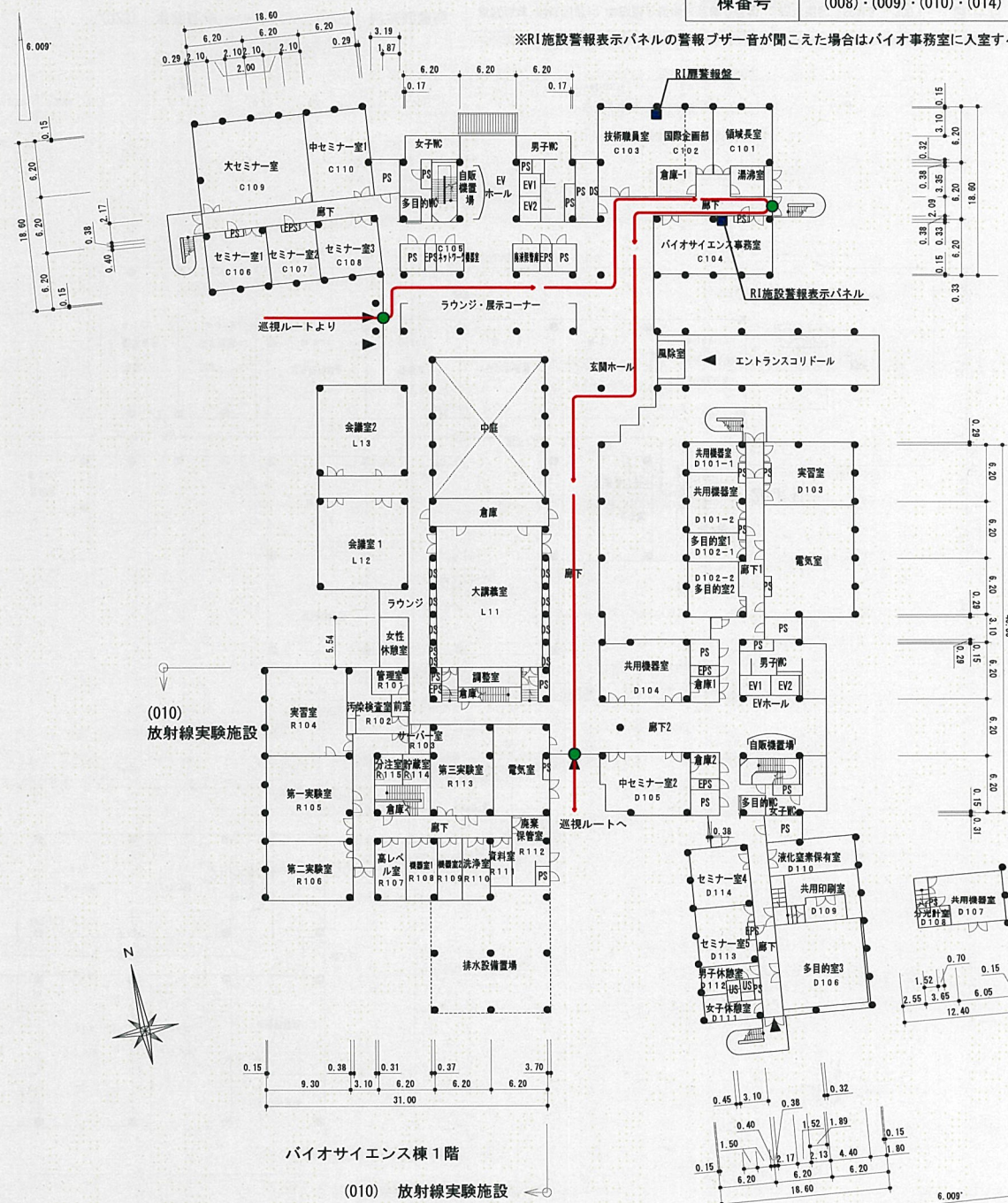
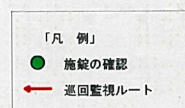
学際融合領域研究棟 2号館
(026) (048)



※RI施設警報表示パネルの警報ブザー音が聞こえた場合はバイオ事務室に入室する。

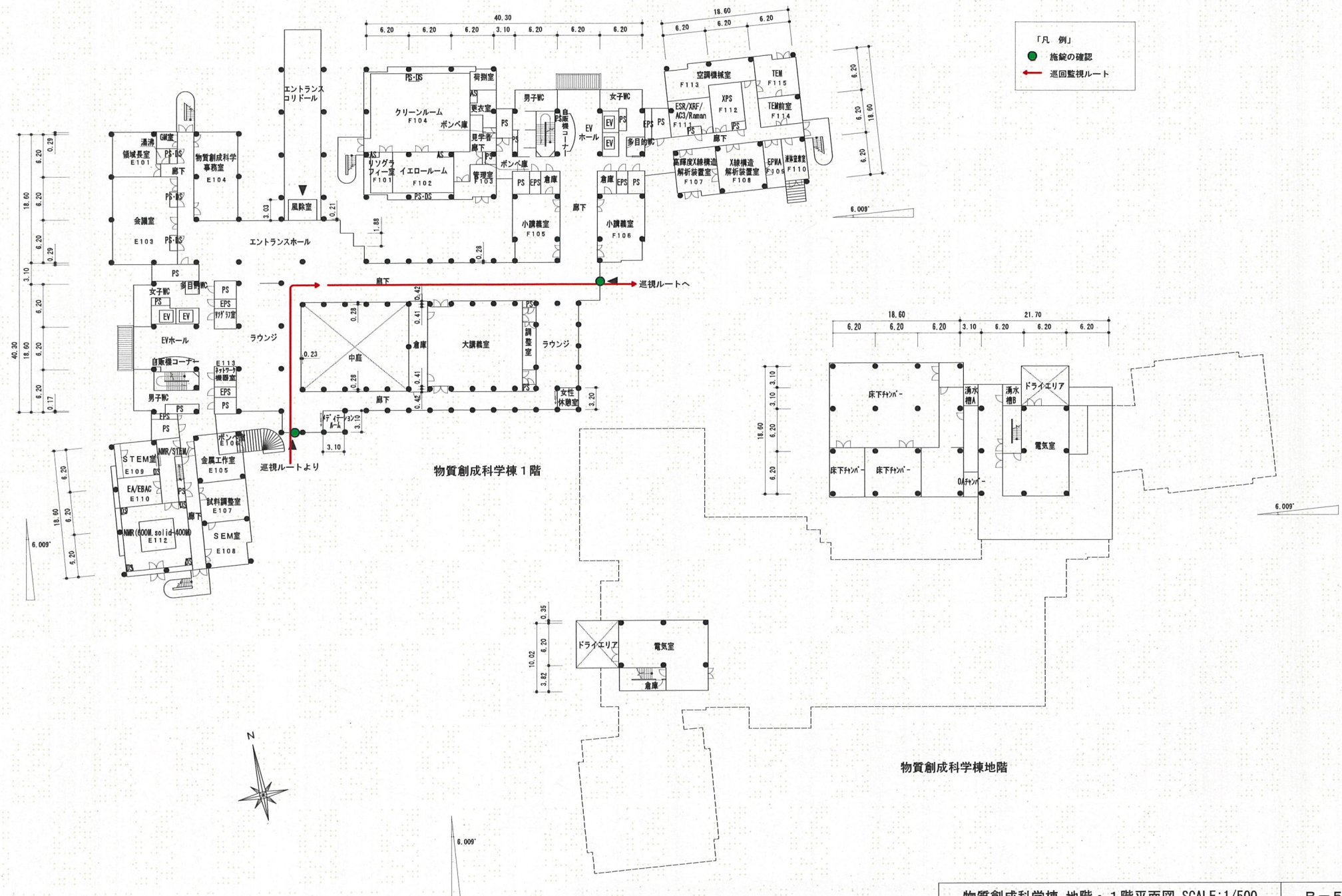


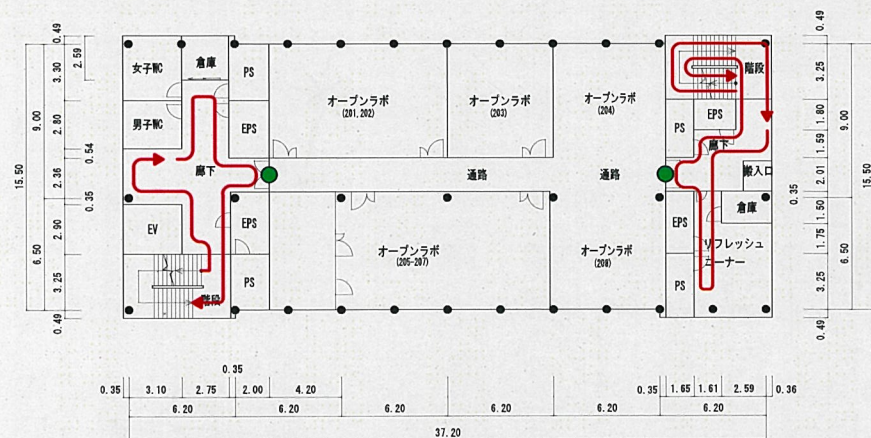
バイオサイエンス棟地階



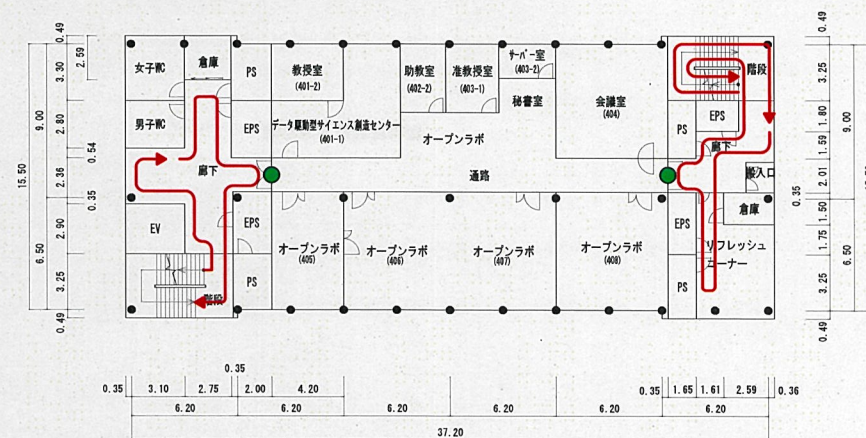
バイオサイエンス棟1階

(010) 放射線実験施設

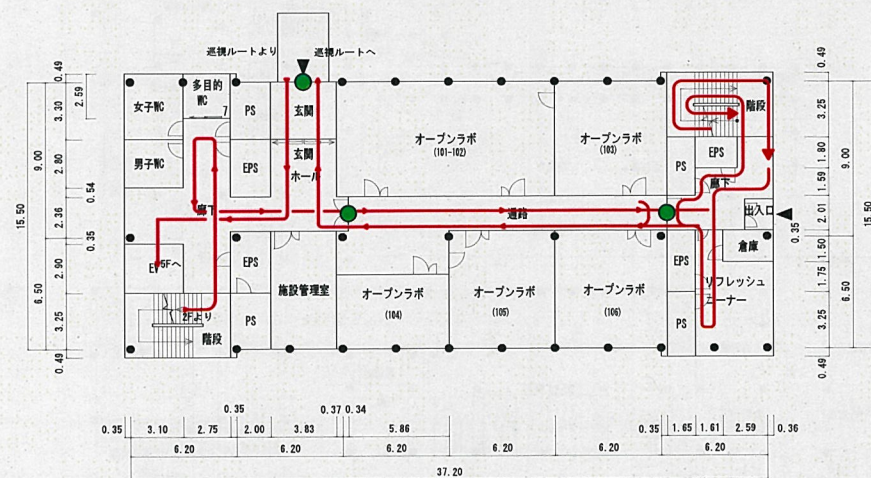




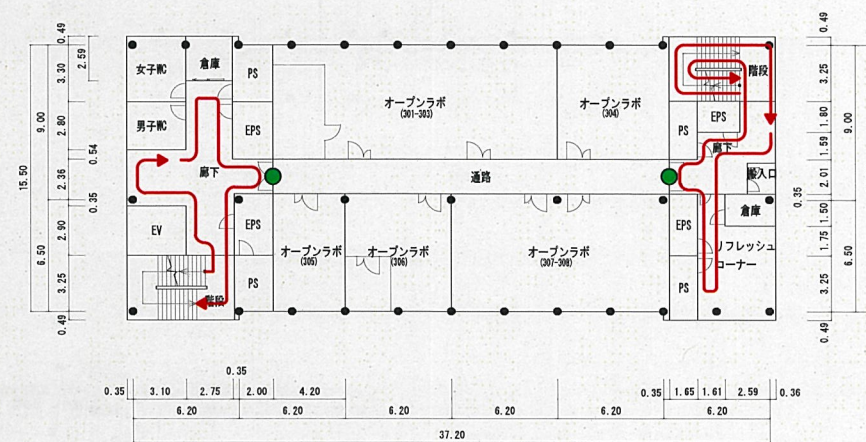
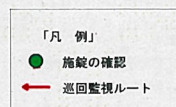
(053) 学際融合領域研究棟 1号館 2階



(053) 学際融合領域研究棟 1号館 4階

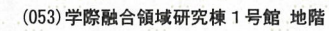
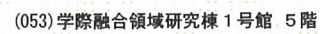
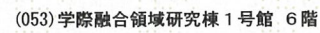


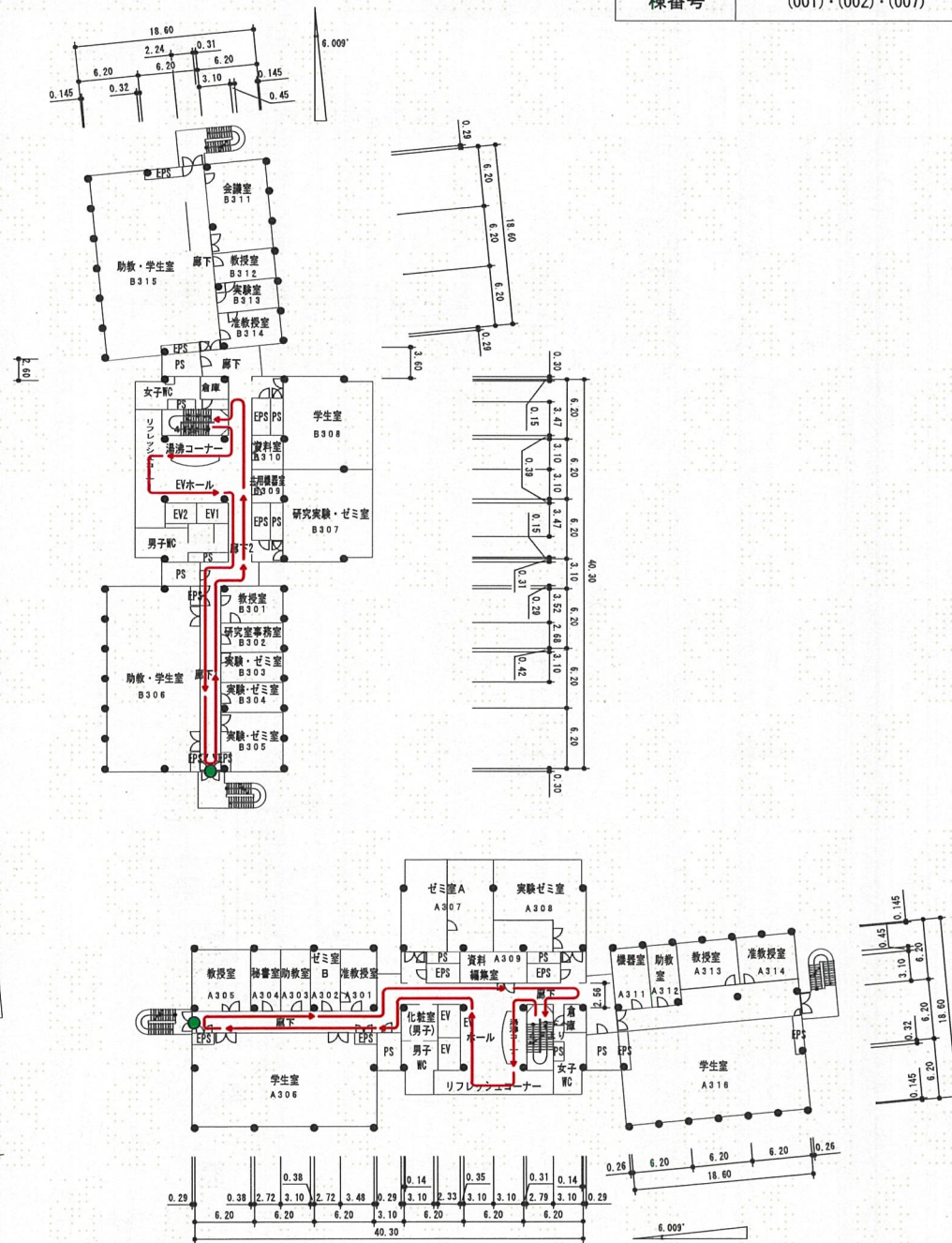
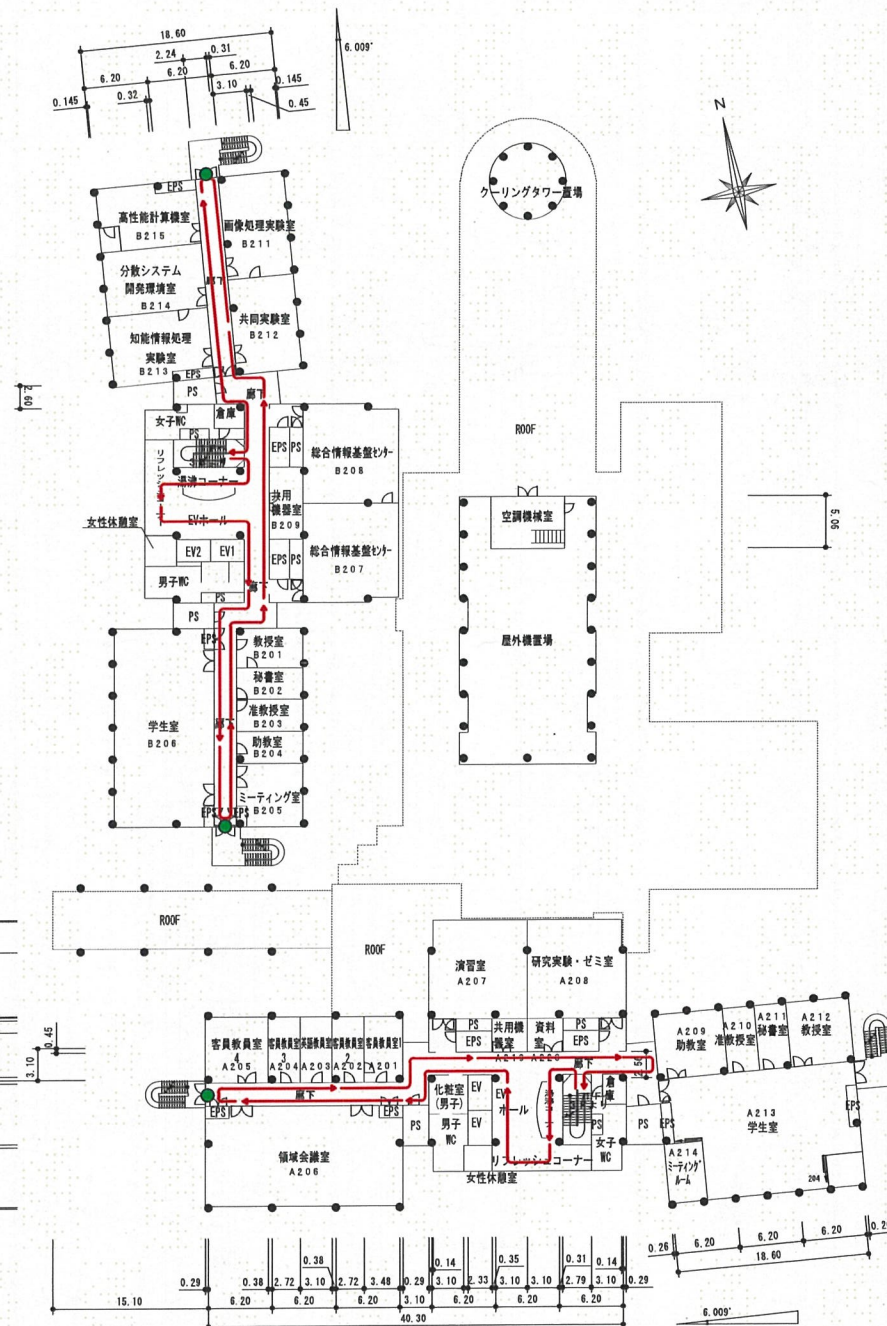
(053) 学際融合領域研究棟 1号館 1階

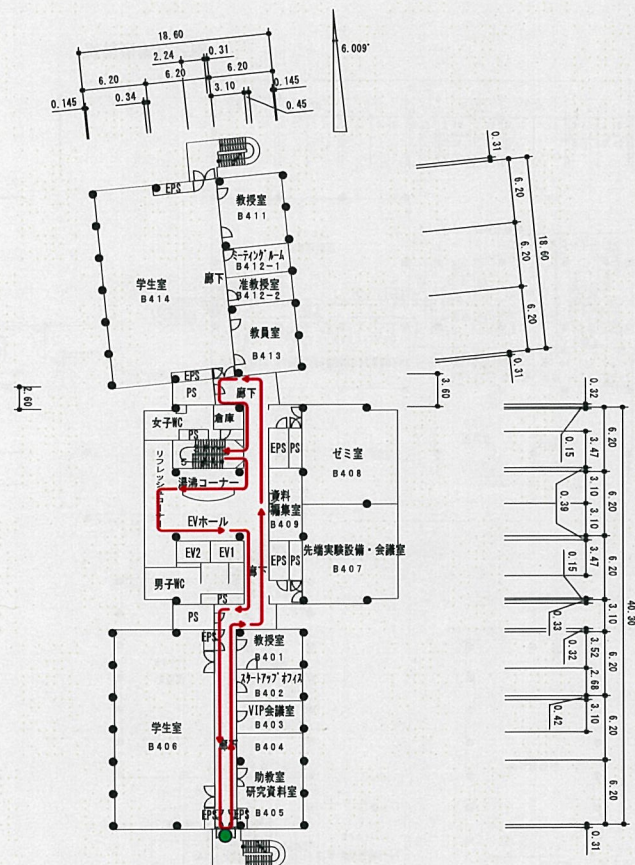


(053) 学際融合領域研究棟 1号館 3階

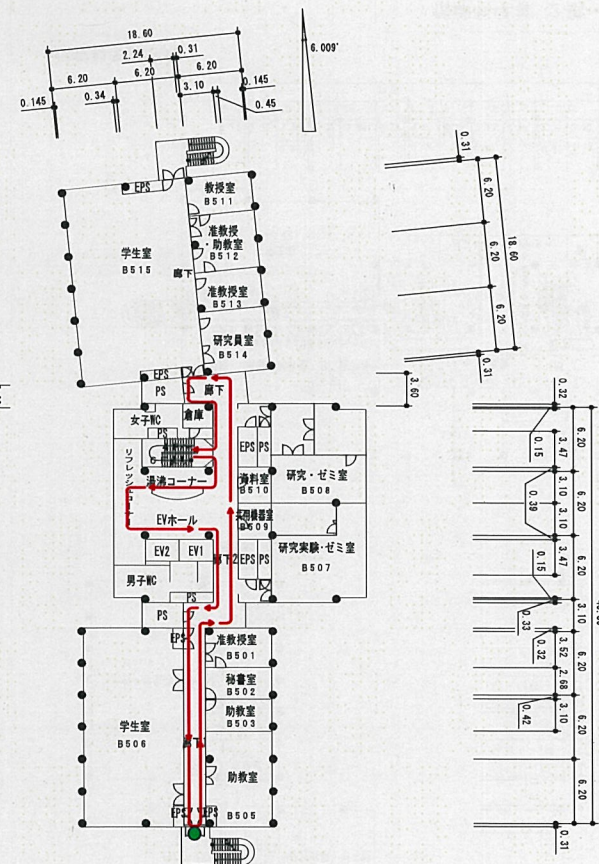




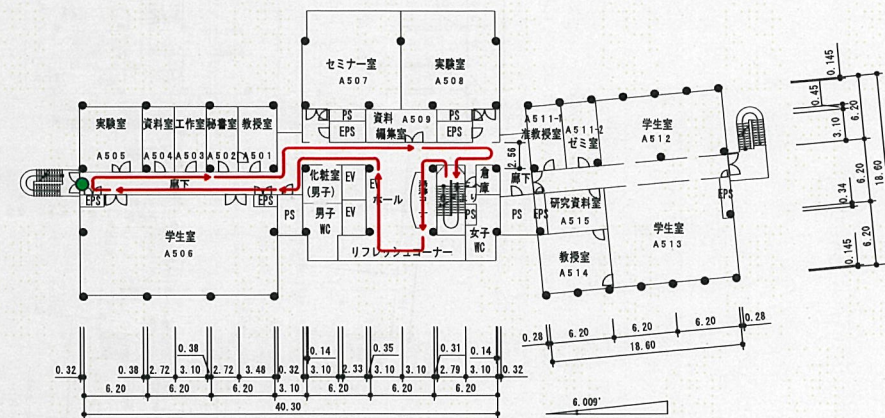
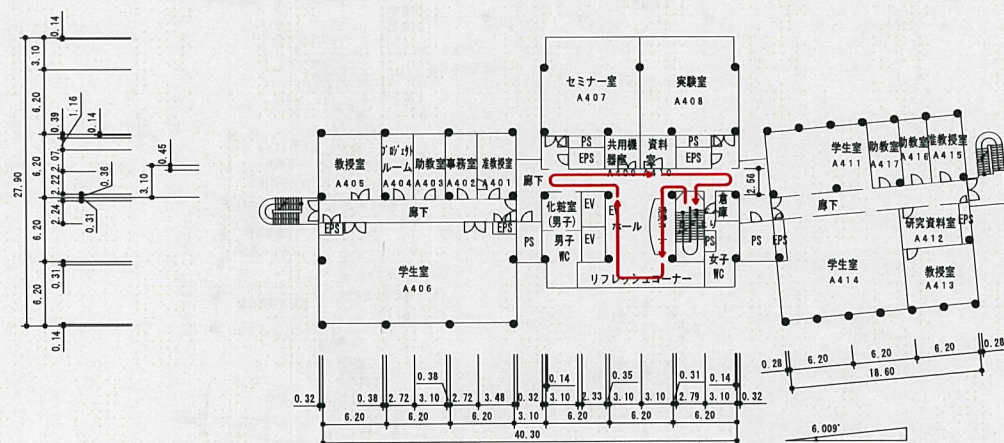


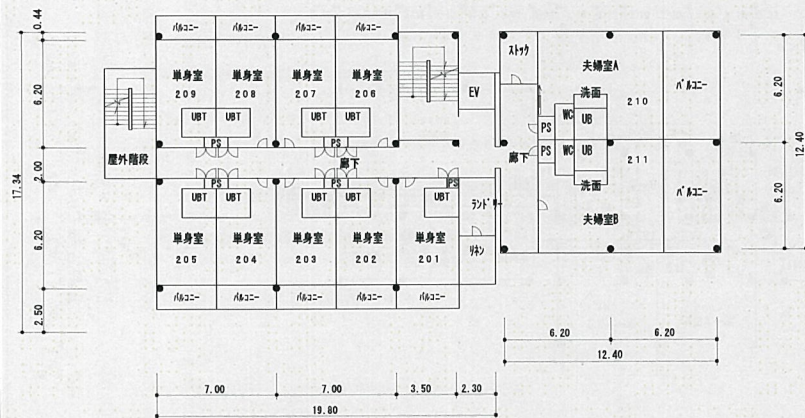


情報科学棟 4階

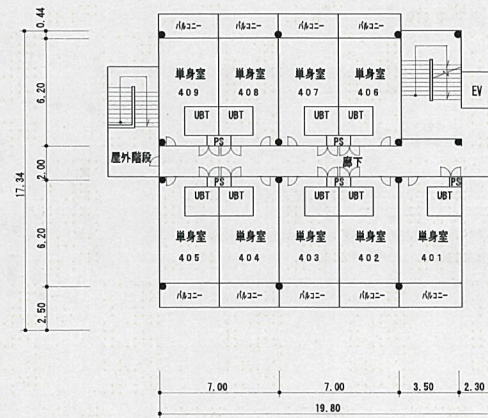


情報科学棟 5階

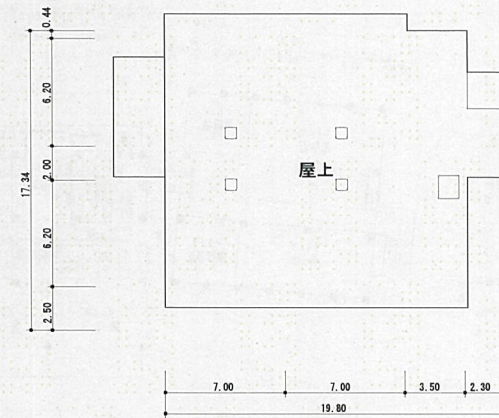




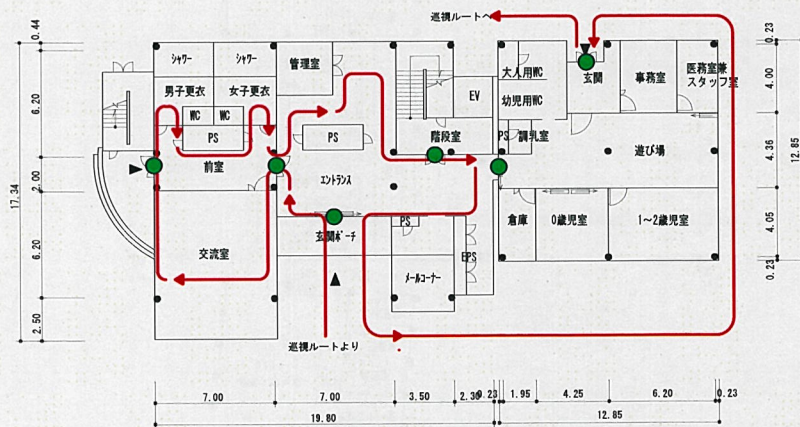
(022) ゲストハウスせんたん 2階



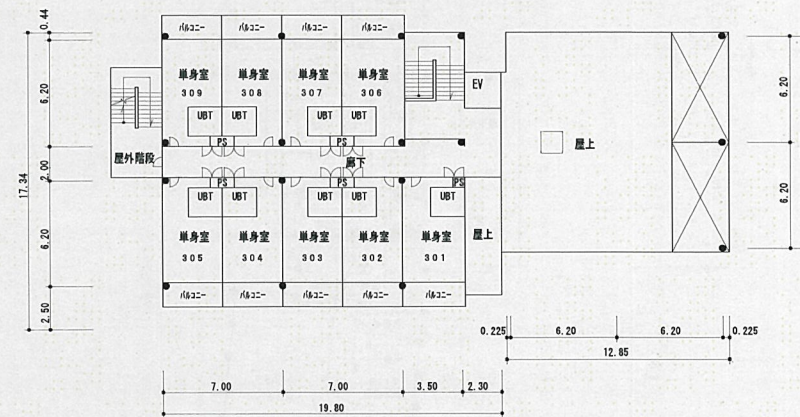
(022) ゲストハウスせんたん 4階



(022) ゲストハウスせんたん 屋階



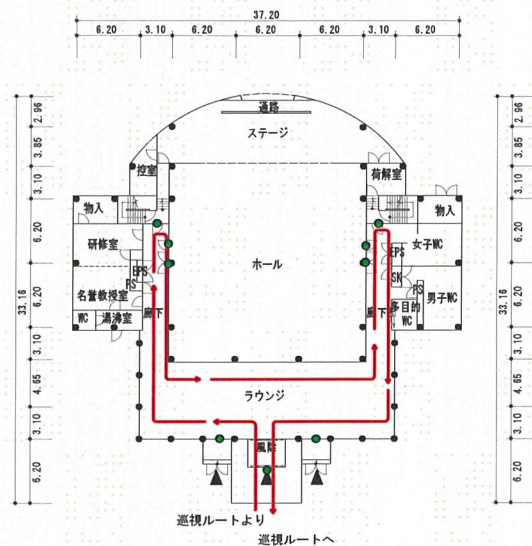
(022) ゲストハウスせんたん 1階



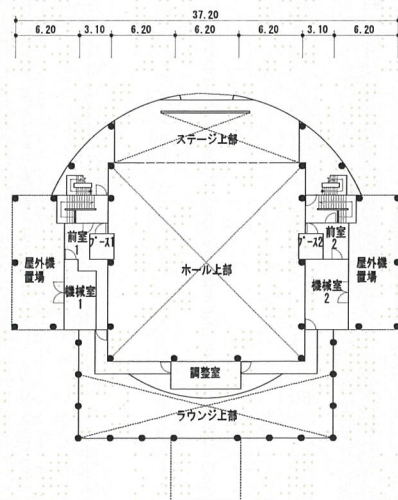
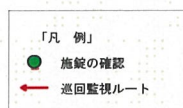
(022) ゲストハウスせんたん 3階



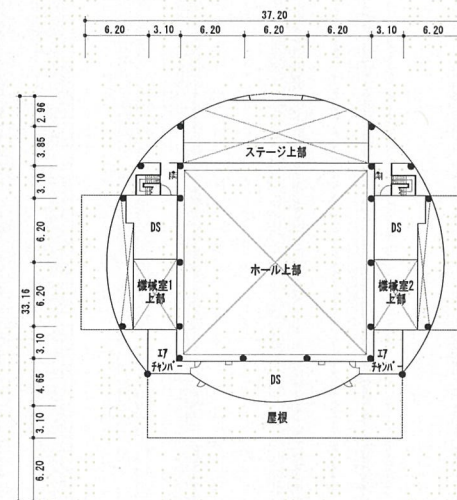
「凡 例」
● 施設の確認
→ 巡回監視ルート



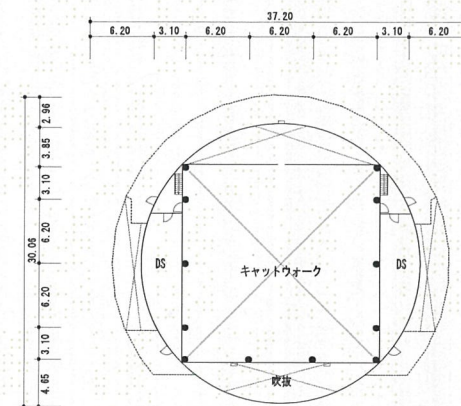
(039) ミレニアムホール 1階



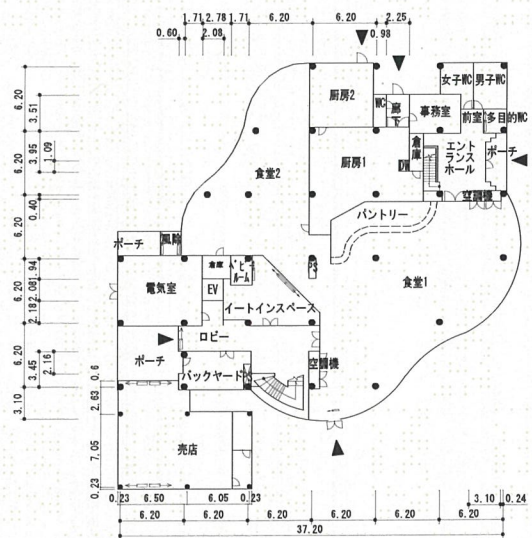
(039) ミレニアムホール 2階



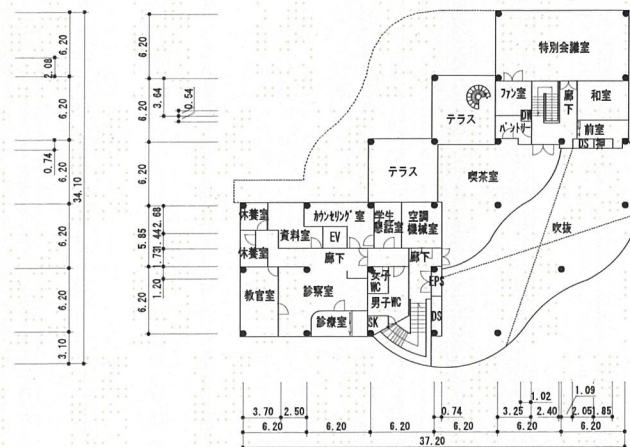
(039) ミレニアムホール R 1階



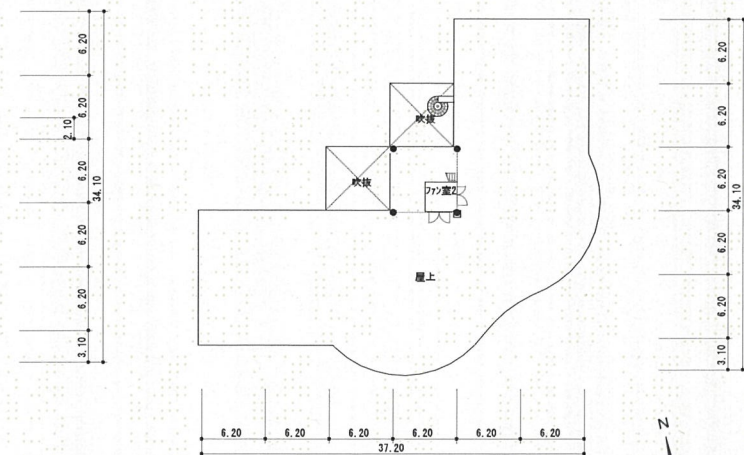
(039) ミレニアムホール R 2階



(005) 大学会館 1階

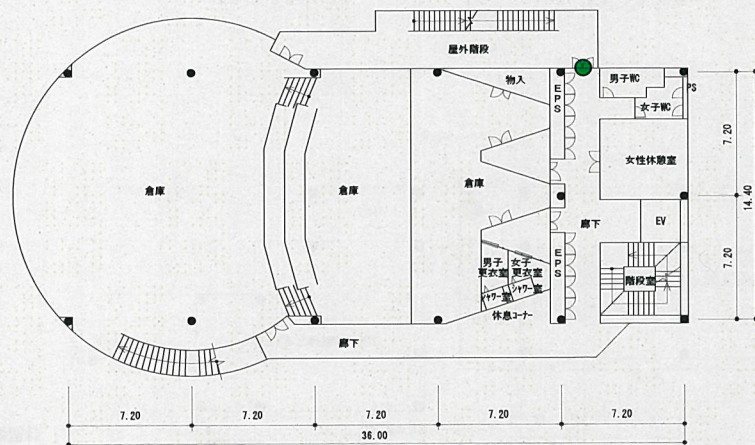


(005) 大学会館 2階

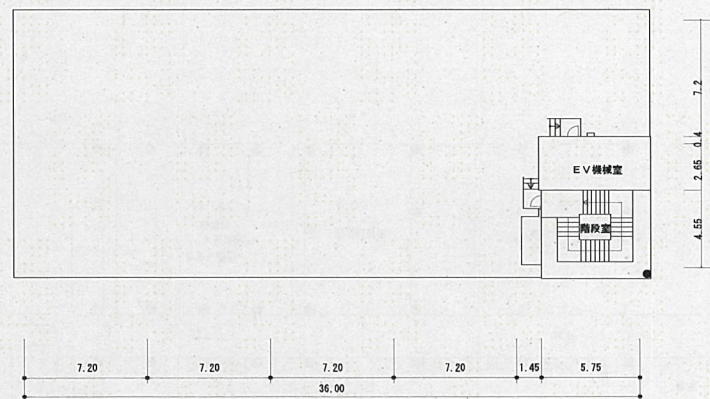


(005) 大学会館 屋階

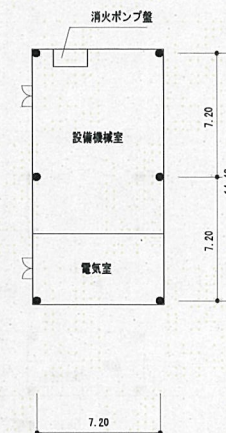




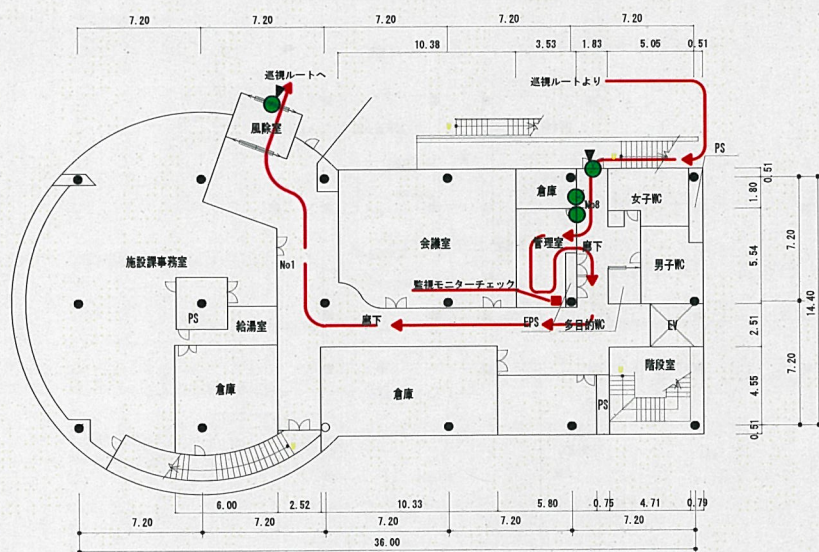
(050) 事務局別館 2階



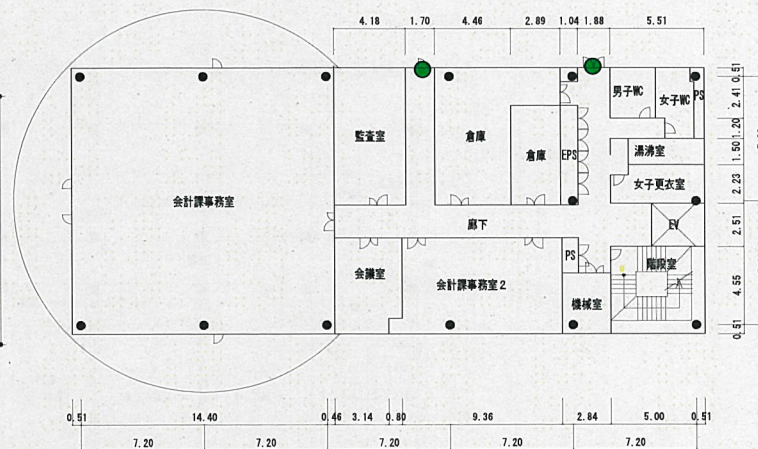
(050) 事務局別館 屋階



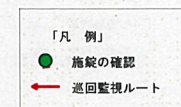
(050) 事務局別館 地階



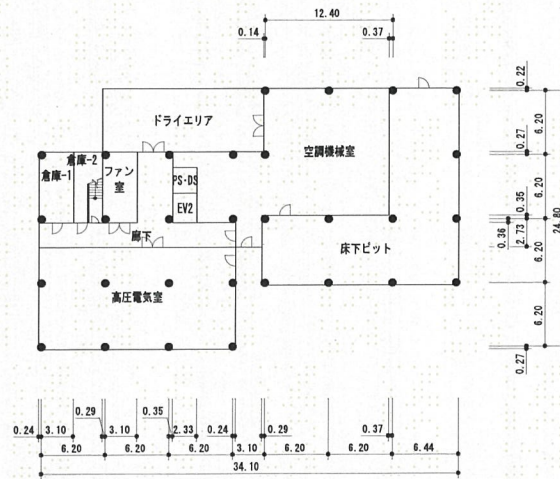
(050) 事務局別館 1階



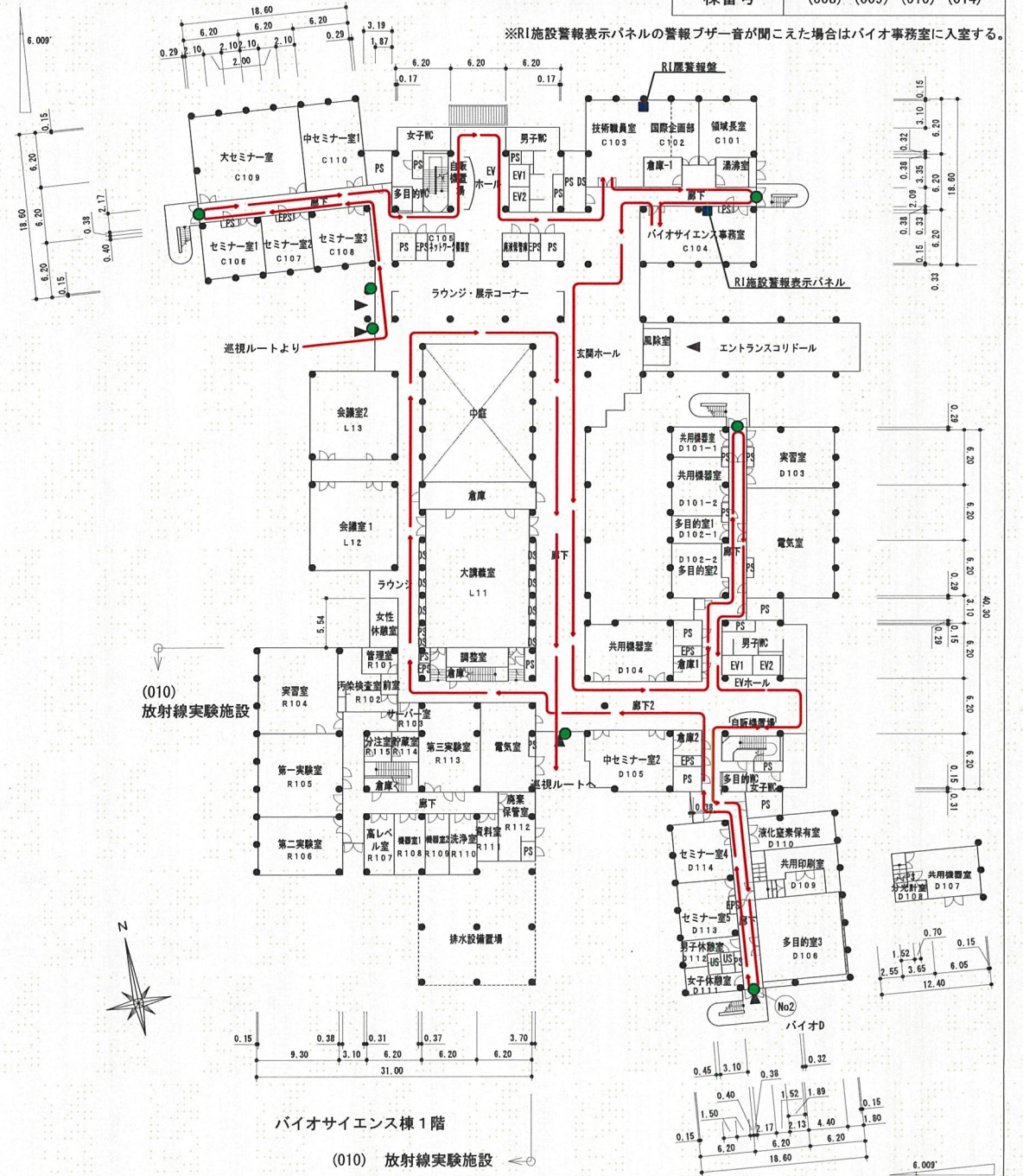
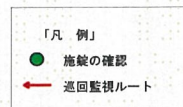
(050) 事務局別館 3階



※RI施設警報表示パネルの警報ブザー音が聞こえた場合はバイオ事務室に入室する。

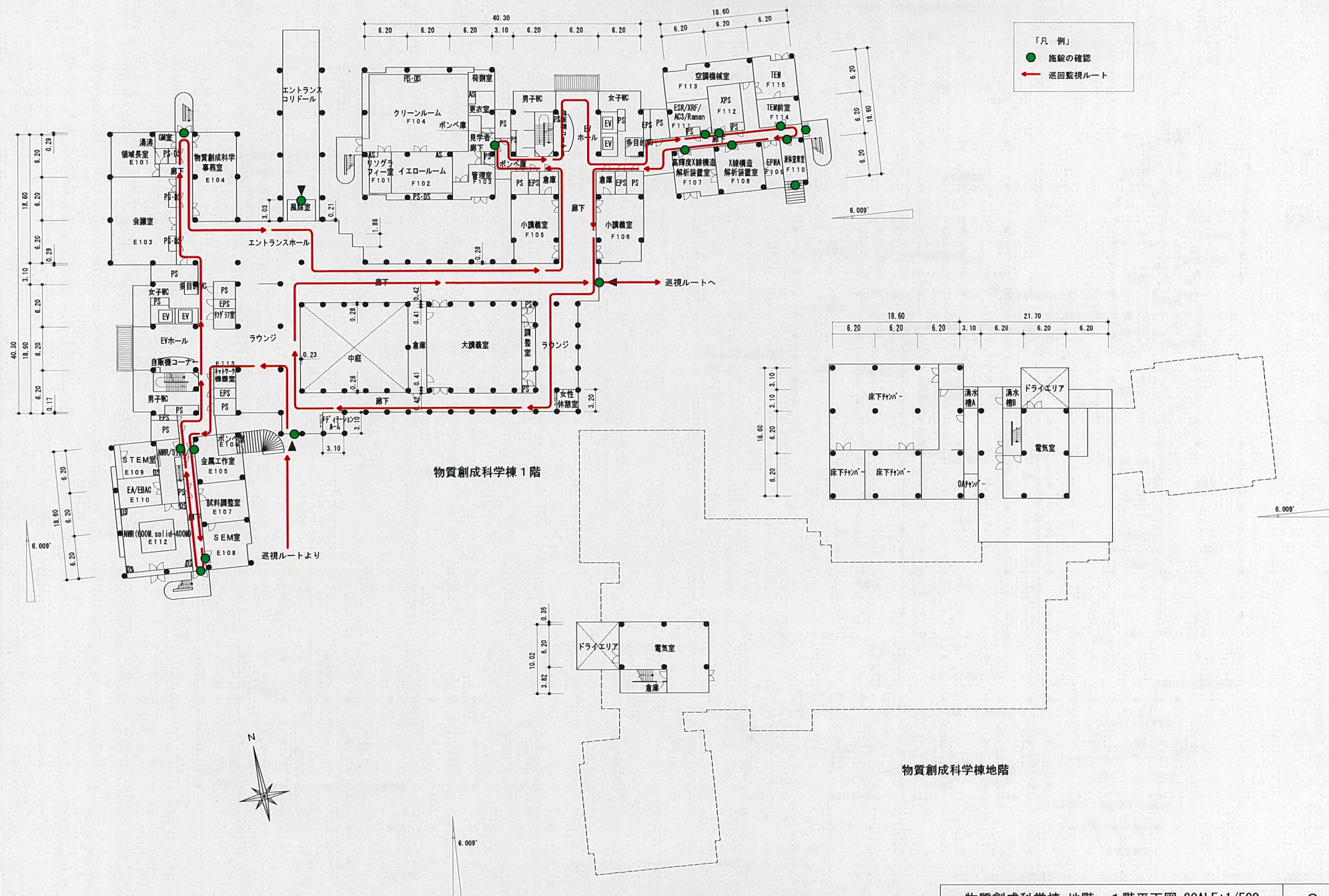


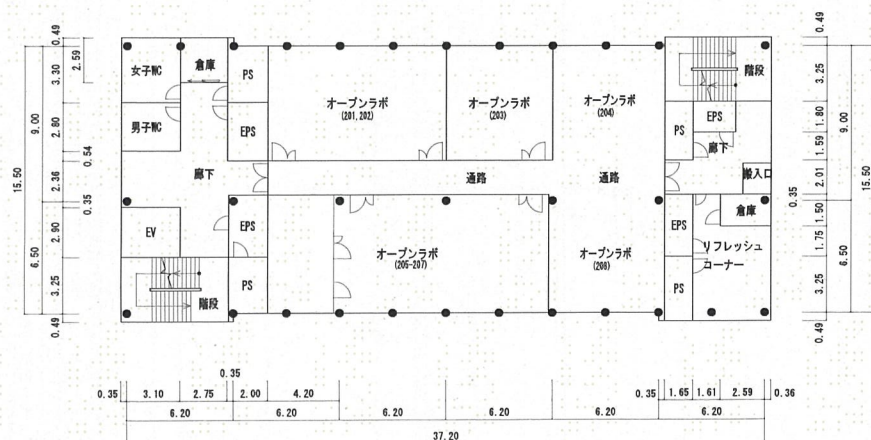
バイオサイエンス棟地階



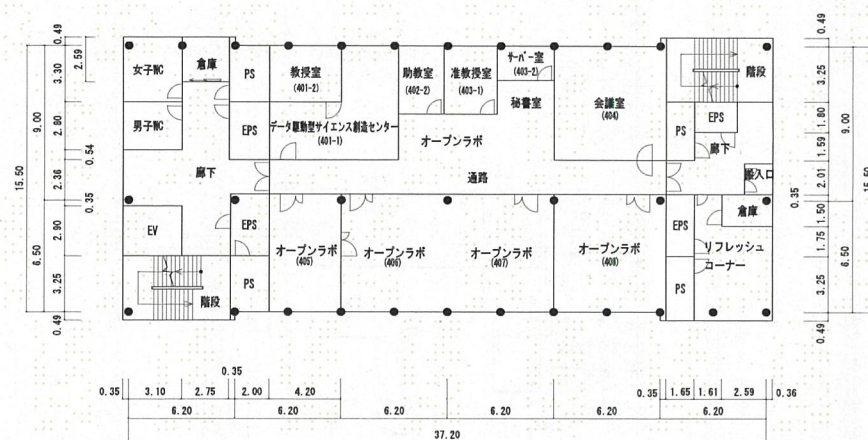
バイオサイエンス棟 1階

(010) 放射線実験施設

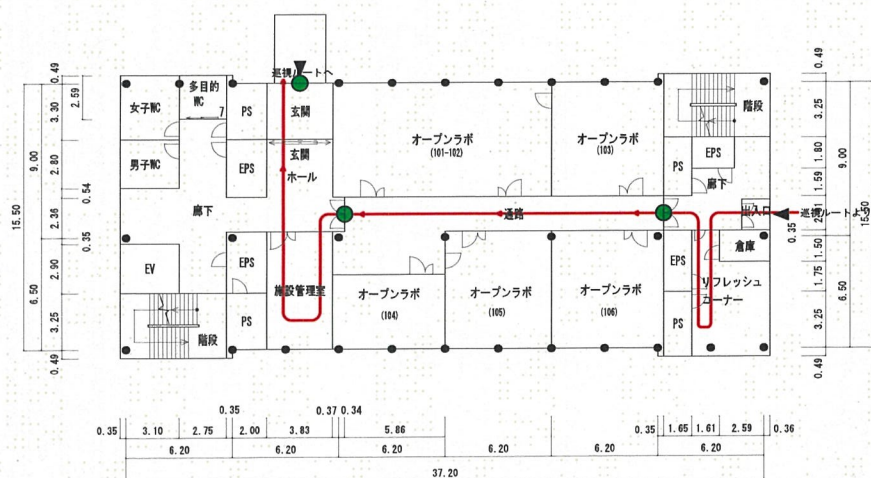




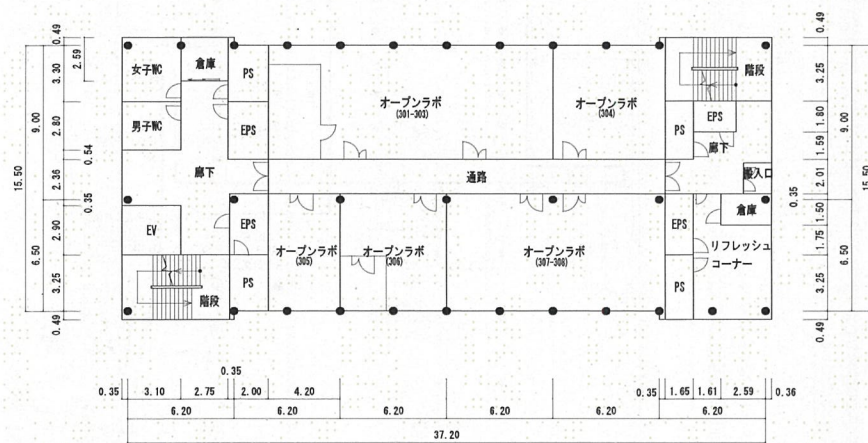
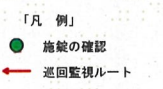
(053) 学際融合領域研究棟 1号館 2階



(053) 学際融合領域研究棟 1号館 4階



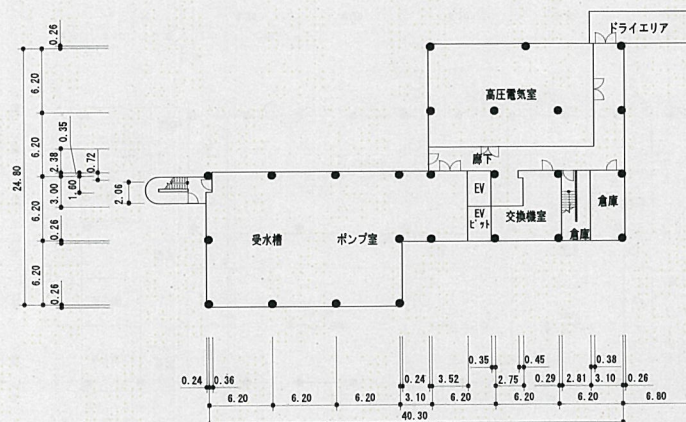
(053) 学際融合領域研究棟 1号館 1階



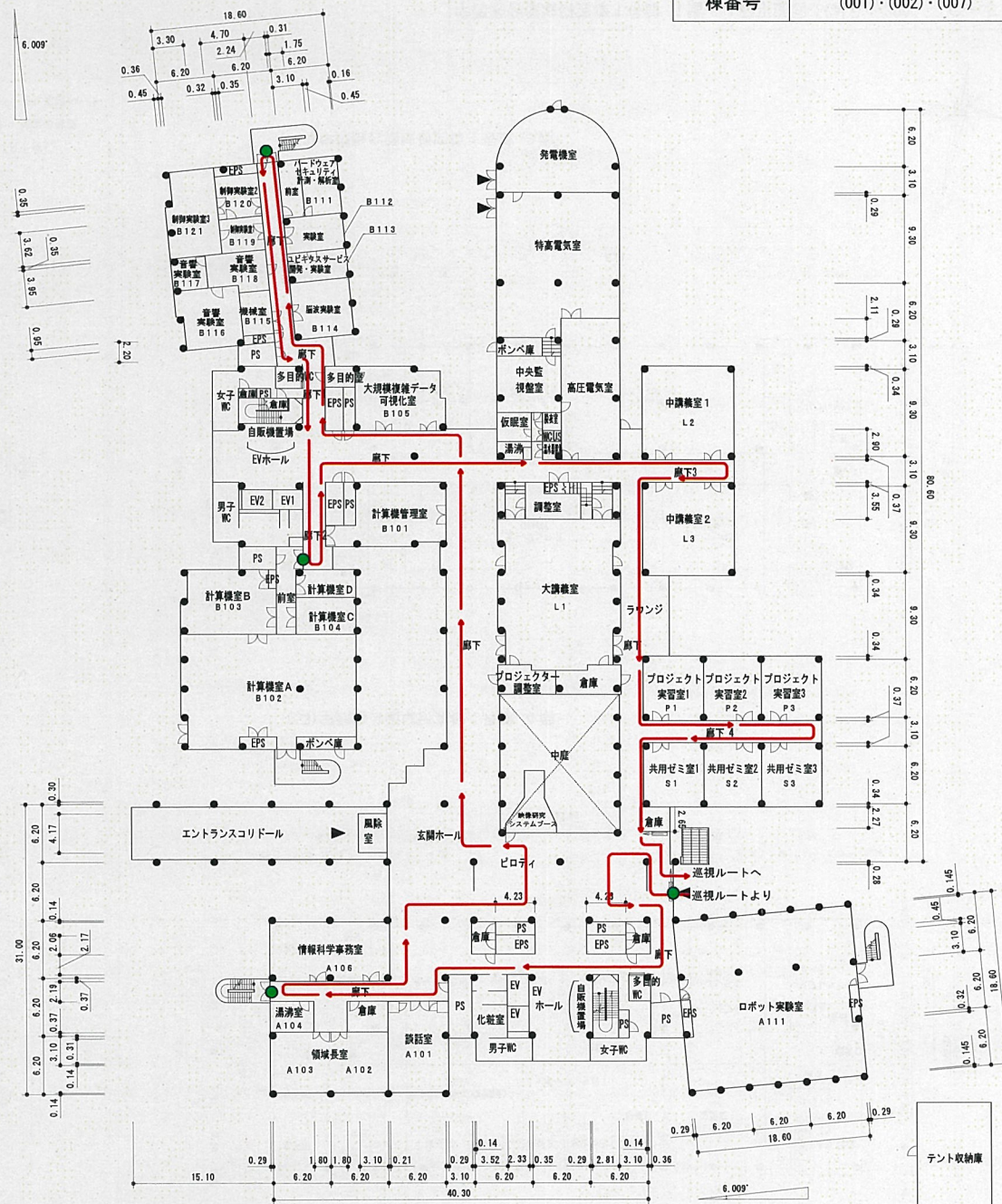
(053) 学際融合領域研究棟 1号館 3階



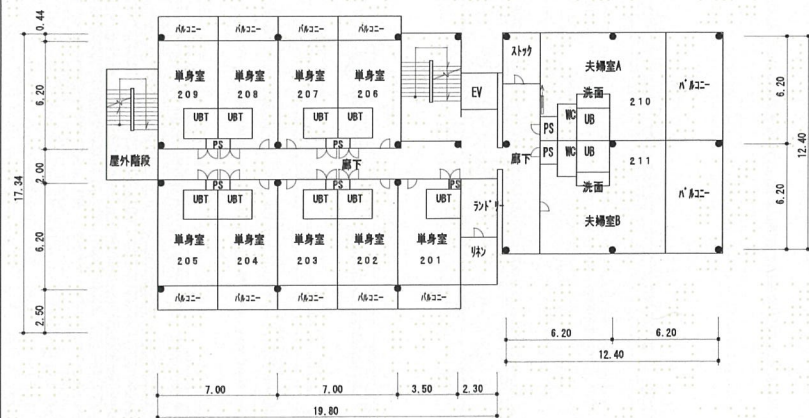
「凡 例」
 ● 施設の確認
 巡回監視ルート



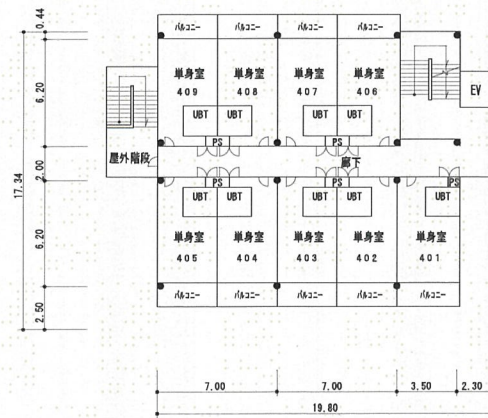
情報科学棟地階



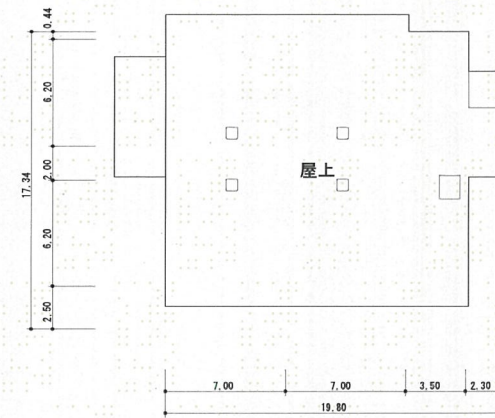
情報科学棟 1 階



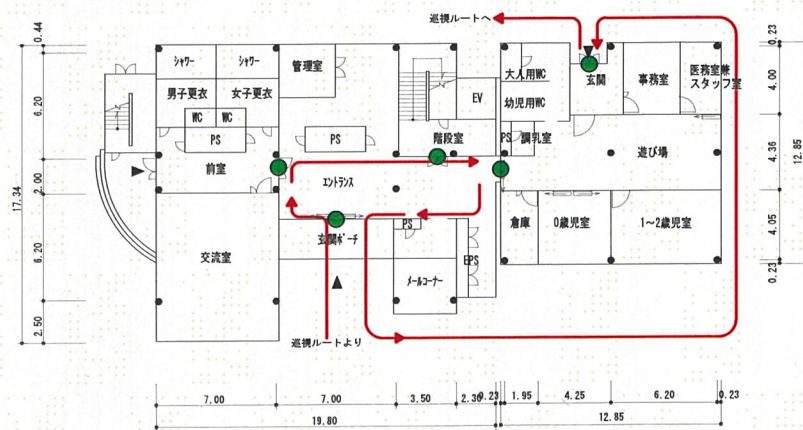
(022) ゲストハウスせんたん 2階



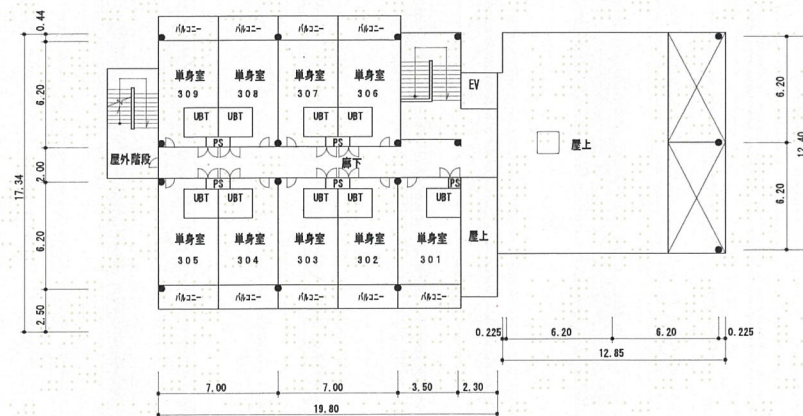
(022) ゲストハウスせんたん 4階



(022) ゲストハウスせんたん 屋階



(022) ゲストハウスせんたん 1階



(022) ゲストハウスせんたん 3階

